令和5年度社員総会

日時:令和5年5月28日(日)

会場:ソニックシティ ホール棟1F「大ホール」



公益社団法人

日本超音波医学会

〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町2-23-1

お茶の水センタービル6F

U R L:http://www.jsum.or.jp

T E L:03-6380-3711 F A X:03-5297-3744 E-Mail:office@jsum.or.jp

公益社団法人日本超音波医学会 令和5年度定時社員総会次第

日時: 令和5年5月28日(日) 12:30~13:30 会場:ソニックシティ ホール棟1階「大ホール」

開会 理事長 議長選出 理事長 理事長挨拶 理事長 議題 1. 令和4年度事業報告(令和4年度事業報告及び附属明細書)に 総務担当理事 ついて(承認事項) (資料1) 2. 令和4年度収支決算報告(令和4年度計算書類(貸借対照表及 財務担当理事 び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録)につ いて(承認事項) (資料2) 3. 令和4年度収支決算監査報告について(承認事項) (資料3) 監事 4. 令和5年度事業計画書について(報告事項) (資料4) 総務担当理事 5. 令和5年度収支予算書(令和5年度予算)、資金調達及び設備 財務担当理事 投資の見込を記載した書類について(報告事項) (資料5) 理事長 6. 定款変更ついて(承認事項) (資料6) 理事長 7. 会費滞納状況(報告事項) (資料7) 理事長 8. 名誉・功労会員推薦について(承認事項) (資料8) 議 長 9. その他 議長

議事録署名人の選出 議 長

閉会

令和4·5年度公益社団法人日本超音波医学会 役 員

(自 令和 4 年 5 月21日 至 令和 6 年度通常社員総会締結時)

理事長(代類)飯島尋子

副理事長(株舞)岩永史郎 平井都始子

理 事 秋山いわき 石津智子 市橋 光 小川眞広 金井 浩 菊池昭彦 北野雅之 工藤信樹

椎名 毅 陣崎雅弘 瀬尾由広 西田 睦 長谷川英之 畠 二郎 濱口浩敏 日浅陽一

廣岡芳樹 古川まどか 丸山紀史 渡邉 望

監 事 尾本きよか 村田光繁

令和2~5年度公益社団法人日本超音波医学会 代 議 員

(自 令和2年4月1日 至 令和6年3月31日)

相方 浩 會澤信弘 赤坂和美 秋山いわき 浅沼俊彦 蘆田玲子 東 隆 代議員 麻牛和信 阿部雅則 阿部倫明 阿部康彦 荒川元孝 飯野貴子 五十嵐達也 石井桂介 石川卓哉 石川 英樹 石津智子 石本人士 伊集院裕康 泉 知里 依田 広 井田良幸 市塚清健 伊藤隆英 井上勝次 伊吹恵里 岩田真一 岩瀧麻衣 岩永史郎 岩野弘幸 植木敏晴 打田佐和子 梅原永能 梅本 剛 恵荘裕嗣 大枝 敏 大川和良 大倉宏之 大谷朋仁 大西哲存 大野栄三郎 大森浩二 緒方利安 小形幸代 岡庭信司 小川 力 小川眞広 尾髙北斗 乙部克彦 小野尚文 尾本きよか 加地 剛 金井 浩 金川武司 金森 明 金子真大 金西賢治 神山直久 亀井桂太郎 亀田 徹 狩山和也 川合宏哉 川岸哲也 川崎元敬 川崎靖子 川嶋啓揮 川部直人 菊池昭彦 岸野智則 北野雅之 熊川まり子 黒 沢 幸 嗣 黒 田 英 克 黒 松 亮 子 桑 田 知 之 合田亜希子 小 林 浩 一 小林さゆき 小林奈津子 小松 篤 史 紺 野 啓 西 條 芳 文 斎藤こずえ 齋 藤 昌 利 齊 藤 弥 穂 坂 田 好 美 坂 田 泰 史 梓 櫻 井 健 一 笹 沼 英 紀 佐 藤 秀 一 佐 道 俊 幸 佐 藤 洋 重田浩一朗 柴 田 英 貴 恵 志村浩己 白木克哉 陣崎雅弘 菅原政貴 杉原營明 杉本勝俊 鈴木康秋 鳥田 鈴村和大 諏訪惠信 瀬尾由広 園山輝幸 髙木慎太郎 高口浩一 髙田厚照 高橋宏和 高安賢太郎 田口孝典 武井康悦 竹川英宏 竹田欽一 竹田泰治 多田俊史 夛田 立花克郎 辰巳和宏 田中新一郎 田中伸明 田中秀和 田中宏和 田中 守 谷垣伸治 谷川俊一郎 玉井 努 玉井秀幸 玉野正也 土谷 薫 寺井崇二 土肥 薫 豊田 豊田秀徳 豊野学朋 内藤岳人 内藤みわ 永井知雄 永井英成 中河原浩史 中島一毅 中田雅彦 長沼裕子 永松 健 中村進一郎 那須初子 成瀬勝彦 西上和宏 西川かおり 西村重彦 西村貴士 新田尚隆 二宮朋之 沼田和司 西田直生志 西田 睦 長谷川英之 二郎 濱口浩敏 林 浩 長谷川潤一 畠 橋本千樹 橋本 香月 林 日浅陽一 日高庸博 日高 央 平岡 淳 平野 豊 平山みどり 広岡昌史 廣岡芳樹 福田優子 藤井雅邦 古川まどか 古田眞智 穂積健之 舛形 尚 松居剛志 松岡 松原 浩 松村 剛 松本賢亮 松本直樹 的野智光 眞部紀明 真野敏昭 丸上永晃 丸山紀史 三浦隆生 南 康範 嶺 喜隆 宮坂陽子 村田 晋 村田光繁 安井 山崎 聡 山下竜也 山下信行 山田 晶 山田 聡 山田博胤 山野哲弘 山野倫代 山本一博 山本祐華 湯淺敏典 湯田 聡 吉川昌平 吉里俊幸 吉澤 晋 吉田 寛 吉牟田 剛 竜崎仁美 脇 康治 脇 英彦 和田誠司 和田靖明 渡邉 望 渡邊博之 渡邊幸信

令和4·5年度日本超音波医学会 各種委員会等名簿

企画委員会(19名) a) 菊畠秋瀧中飯 地 山間島島 昭二わ浄淑尋 彦郎き宏江子 委員長副委員長委員 工 藤 信 樹 丸 山 紀 史 岩 永 史 郎 沼 田 和 司 太 田 智 行 平井都始子 小 川 眞 広 古川まどか 西條芳文村田光繁 陣 崎 雅 弘 事 **オブザーバ 機器及び標準化委員会**(134) 委員長 秋山いわき 副委員長 山口 匡 委 員 内藤みわ 後藤英之 新 田 尚 隆 岸 本 理 和 水 野近 藤 吉 澤 晋 尾本きよか 石原 謙 桑田知之 亀田 **安全委員会**(20名) 委員長 秋山いわき 副委員長 菊池昭彦 委が、ザーバー 内藤みわ 工 藤 信 樹 梅村晋一郎 古川まどか 坂田好美 笹沼英紀 田中 守 新田尚隆 野村英之 **編集委員会**(72名) 委員長 原 副委員長 深 委員 岡尾坂田池田父島中井野芳由和 昭泰 一航喜倫樹広美基彦史淳彰仁充代 廣瀬赤岡菊坂祖中野藤山 市沖國小田中蜂丸吉塚原井路中瀬屋山元清宏 秀順弘紀和 植亀黒杉寺成日村松田田本田瀬高田 松田田本田瀬高田 大菅斎関豊沼福山野野藤谷野田原利 二充学和隆津 三元学和隆津 郎敦元晃朋司宏子 位落久進谷中服南渡藤合保藤垣野部 辺俊 一久伸正惣康千 泉岡楠塩竹中畠松吉部瀬見川島本田 知龍賢英英祐二 憲里太也之宏子郎敦司 梅村晋 一郎 一厚徳和治吾一範聡 村﨑藤木肥田岡1年元英眞 尚昌 敬之一薫隆史匡 川後鈴土新広山 公光一敬 浮高 森 田 理 玲 奈 孝 子 太 田 智 行 土 谷 薫 山田利津子 小笠原正文 中 田 雅 彦 山 本 徳 則 奥 野 敏 隆 蜂 屋 弘 之 渡 邉 尾本きよか 濱 口 浩 敏 亀田 徹藤原憲太 平井都始子 オブザーバー 保険委員会(19名) 委員長 陣崎雅弘 副委員長 北野雅之 委員 飯島尋尋子 中島一毅 オブザーバー 平井都始子 市塚清健中島福子 岩 永 史 郎 西田直生志 森 秀 明 浮村 理福成信博 菊池昭彦村島直哉 國分茂博吉田 寛 啓 斎藤こずえ 紺野 国際交流委員会(10名) 委員長 秋山いわき 副委員長 北野雅之 委員明石定子 廣岡 芳樹 岩永 史郎 菊池 昭彦 陣崎 雅弘 長谷川英之 古川まどか 南 康範 **教育委員会**(24名) 委員長 副委員長 何森亜由美 黒 田 英 克 嶺 喜 隆 市原 真多田明良村田 晋 位 藤 多 田 山 俊 使 関 順 岡庭信司中島祐子 渡邉 望 小 野 友 輔 長 沼 裕 子 亀 田 徹 川合宏哉 長谷川英之 平井都始子 委員·幹事 丸市久鶴桝渡尾山塚田の東健徳る司聡か 市馬 新田田 光克隆樹 大紺 野高 西野高 康 東 落 合 厚 下 出 祐 造 平井都始子 宮 坂 陽 子 小 野 友 輔 関 充 晃 野 工 豊 村 上 加 地 竹 川 英 柊山川 剛宏剰誠 治敦太則 金田 田藤山県 本 古川まどか

顕彰委員会(16名)

工藤信樹瀬尾由広 委 員 長 副委員長

根 尾 田 仏 市 橋 光 長谷川英之 秋山いわき 岩瀧麻衣 岩永史郎 菊池昭彦 北野雅之 鯉渕晴美 陣崎雅弘 西田 睦日浅陽一 森田孝子 山口 匡平井都始子 員 オブ゙サ゛ーハ゛ー

超音波検査士制度委員会(24名) 委員長 濱口浩敏 副委員長 西川かおり 当

ペリカー (型型) ロール (型型) ロール (型型) 中で (型型) で (尾本きよか 加 地 田 中 直 彦 長 岡 和久井紀貴 剛 河本敦夫 小松篤史 白川崇子 関口隆三 亮 西村重彦 古川まどか 松尾 汎 皆川倫範

オブ゙サ゛ーハ゛ー

超音波工学フェロー認定審査委員会(14名)

金井浩 委員長副委員長

西條芳文 高野真澄 高橋広樹 武井康悦 谷川俊一郎 長野智章 長沼裕子嶺 喜隆 森 翔平 吉田憲司 岡田 新田尚隆 嶺

研究開発促進委員会(15名)

長谷川英之 丸 山 紀 史 位 藤 俊 一

啓 杉本勝俊 大門雅夫 高田悦雄 瀧聞浄宏 匡 吉澤 晋 映 小川眞広 紺野 ざか 舛形 尚 山口 植 野 中田雅彦 古川まどか 舛形

倫理委員会(9名)

委員長副委員長 委員 蘆田 玲子 オブザーバー 平井都始子 浩 西田 睦 広岡昌史

学術集会委員会(20名)

委員長 金井 浩 副委員長 石津智子 委 員 秋山いわき 荒 川 元 孝 志 村 浩 己 菊 池 昭 彦 飯 島 尋 子 瀬 尾 由 広 北 野 雅 之 小 川 眞 広 畠 二 郎 尾本きよか 亀田 徹 廣岡芳樹 森 秀明 位藤俊一 徹 齋藤昌利 中田雅彦 畠

地方会委員会(12名)

菊池陽 定岩 永 史 郎 委員長 副委員長 委員

浮 村 理 小川眞広 金井 浩 椎名 毅 西田 睦 畠 二郎 廣岡芳樹 渡邉

広報委員会(9名)

報要員 委員長 副委員長 員・ おがず・ハ・ 瀬尾田田広店 黒 沢 幸 嗣 田 中 聡 司 山 口 岩 永 史 郎 平井都始子 市原 真飯島尋子 囯

利益相反委員会(9名)

爱 員 長 陣崎雅弘 委員長 陣崎雅弘 委 員 石原 謙 石本人士 遠藤信行 尾高北斗 神山直久 齊藤弥穂 村田光繁 山下裕一

キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会(16名) 委員長 渡邉 望 副委員長 西田 睦

(西赤土飯 田坂谷島 和 尋 華美薫子 石津智子 広岡昌史 杉本匡史 泉 知里 古川まどか 加賀早苗山口 金山侑子 黒沢幸嗣 高見太郎 田中聡司 オブ゙サ゛ーハ゛ー

災害対策委員会(11名) 委員長 古川電 副委員長 西條

古川まどか

西條茅文 渡邉 望 赤坂和美 高野真澄 竹田泰治 多田明良 谷口隼人 中島祐子 山田博胤 和田靖明

超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会(27名)

工藤正俊

椎名

小川 力 小川眞広津川浩一郎 綱島 亮三宅 誠 森 秀明 飯島尋子 泉 知里 竹田泰治 多田俊史 西田 睦 日浅陽一 位 藤 俊 一 建 石 良 介 平井都始子 植松孝悦田中秀和

総務担当理事(1名) 椎名 毅

財務担当理事(1名) 小 川 眞 広

会員資格担当理事(2 名) 工 藤 信 樹 西 田 睦

規約担当理事(2 名) 市 橋 光 丸 山 紀 史

個人情報保護担当理事(1名) 石 津 智 子

日本医学会担当理事(4名) (評 議 員)飯島 尋子 (連 絡 委員)平井都始子 (用語 委員)丸山紀史 (用語代委員)北野雅之

公益社団法人日本超音波医学会 令和4年度事業報告及び附属明細書 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

令和4年度事業報告は、以下のとおりである。

I 会員の現況

(令和5年3月31日現在)

会員種別	令和4年3月31日 現在数	令和5年3月31日 現在数	増 減	備考
名誉会員	31	33	+ 2	
功労会員	122	125	+ 3	
シニア会員	1, 084	1, 167	+ 83	
正会員	6, 394	6, 250	- 144	
準 会 員	8, 546	8, 841	+ 295	
学生会員	7	11	+ 4	
賛助会員	11 (41 🗆)	11 (41 🗆)	0(0口)	
計	16, 195	16, 438	+ 243	

名誉会員(下記63名) (*物故者)
*青柳健次 *加藤金正*菊池喜充*田中憲二*吉田常雄*吉岡勝哉*永山徳郎*金子仁郎*実吉純一*古賀 孝 *海老原敏明*板原克哉*岡 益尚*奥山大太郎*安藤 弘*井出正男*奥島基良*中島 茂*林 周一*有賀槐三*John J. Wild *Floyd Dunn *仁村泰治*尾本良三*伊藤健一*吉川純一*岡井 崇 *和賀井敏夫 *福田守道*竹原靖明(30名)渡邉 깢 松尾裕 英 平田經雄 飯沼一浩 堤 裕 竹内负彇 田中元直 北畠 顕名 名取 博中山 淑 伊東紘一 伊東本一 伊京子 大槻茂雄 田中元 直 北島 野見 裕 遠藤信行 八木晋— 田中幸子 松崎益徳 千田彰— Byung Im Oroi 森安史典Yi—Hong Chou 竹中 克 Seung-Hyup Kim 工藤正俊 增山 理 Won Jae Lee 谷口信行 森 秀明Yung-Liang Wan(33名)

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

			和	文	誌				英文	文 誌		論文数 (計)
巻号	49- Supp I	49- 3	49- 4	49- 5	49- 6	50- 1	50- 2	49- 2	49- 3	49- 4	50- 1	
本文ページ数	893	119	67	85	89	95	59	194	196	250	118	
総説 (Review article)	_	30 (3)	36 (3)	9 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	54 (5)	32 (3)	13 (1)	0 (0)	17
特集 (Special Feature)	_	62 (5)	0 (0)	47 (4)	40 (3)	60 (6)	0 (0)	0 (0)	58 (5)	91 (9)	0 (0)	32
原著 (Original Article)	_	16 (2)	0 (0)	0 (0)	31 (3)	11 (1)	11 (1)	121 (13)	62 (7)	114 (12)	57 (8)	47
症例報告 (Case Report)	_	0 (0)	21 (4)	19 (3)	0 (0)	4 (1)	31 (5)	_	-	-	_	13
技術報告 (Technical note)	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	_	_	_	-	0
今月の超音波像 (Image)	_	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	4 (2)	19 (8)	11 (5)	2 (1)	19
Letters to the Editor	_	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (4)	0 (0)	1 (2)	6
Editorial	_	2	2	2	1	2	2	2	2	2	3	
編集後記	-	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	
学術集会プログラム	171	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	

		l	l								
学術集会抄録	688	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
その他	34	8	5	7	14	15	10	12	11	18	54

()内は掲載論文等の数 和文誌の原著論文中、23論文は翻訳論文である。

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業] Ⅲ 学術集会 第95回学術集会(会長 廣岡芳樹)は、令和4年5月20日(金)から22日(日)の3日間、名古屋国際会議場、及びオンデマンド配信で開催した。参加人員5,794名(現地参加2,243名、オンデマンド参加3,551名)。発表内容は下記の通り。

ド配信で開催した。参加人員5,794名(現地参加2,243名、オンデマンド参加3,551名)。発表内容は下記の通り。 第95回学術集会						
一般演題	奨励賞選考口演会 22題(基礎 5.循環署 2.消化署 5.産婦人科 3.腎 泌尿器 4.血管 2.体表職器 1) 一般演題 431題(基礎 4.循環器10)消化器120.産婦人科 53.腎・泌尿器 5.乳腺 6.甲頭頭 10.血管 13.呼吸器 5.運動器 4.小児科 7. 救急 4.教育 8) 合計 453題					
会長講演	「胆膵疾患診療における超音波の功績と今後の方向」					
特別講演	「師匠が語る藤井聡太という才能」					
特別プログラム	消化器 1)シンポジウム 「肝がん診断・治療における超音波の役割と進歩」 2)シンポジウム 「肝疾患におけるエラストグラフィの臨床的役割」 3)パネルディスカッション 「膵癌診療における超音波の役割と存在・鑑別・進行度・予後診断~」 4)パネルディスカッション 「膵胆道領域のピットフォールと対策」 5)パネルディスカッション 「肝臓: 超音波像の成り立ちと解釈: 病理との対応」 6)パネルディスカッション 「胆膵: 超音波像の成り立ちと解釈: 病理との対応」 7)パネルディスカッション 「肝脂肪化画像診断の現状と課題」 8)パネルディスカッション 「肝脂肪化画像診断の現状と課題」 9)ワークショップ 「胆膵 関域における超音波内視鏡診断と治療」 10)ワークショップ 「消化器がん検診判定マニュアル2021を活用する」 11)ワークショップ 「消化管の炎症性疾患における超音波の役割」 12)ワークショップ 「胸部における超音波の役割別を加速を表しての超別が困難な胆素疾患とその超音波所見」 13)ワークショップ 「腹部における超音波の活用と運用」 14)ワークショップ 「腹部における超音波技術の進歩」 循環器 1)パネルディスカッション 「教育/若手、技師、コロナ」 2)パネルディスカッション 「種瘍循環器学/心臓、血栓」 4)パネルディスカッション 「腫瘍循環器学/心臓、血栓」 4)パネルディスカッション 「左房/機能、合併症」					
	4)ハネルディスカッション 「SHD-1 / 非弁膜症治療」 6)パネルディスカッション 「SHD-1 / 非弁膜症治療」 7)パネルディスカッション 「ぶ筋症 / ATTRwt アミロイドーシス」 7)パネルディスカッション 「3D心エコー / 活用法、将来展望」 8)パネルディスカッション 「SHD-2 / 弁膜症治療」 9)パネルディスカッション 「小イドライン / 日臓器連関」 10)パネルディスカッション 「心不全 / HrpEF 他臓器連関」 11)パネルディスカッション 「介藤症 / 二次性MR 一次性MRの心エコー図診断」 腎泌尿器 1)シンポジウム 「泌尿器科診療の超音波~死角の克服~」 2)パネルディスカッション 「検診、その先は?」 3)パネルディスカッション 「CT / MRI で可視化された泌尿器疾患への超音波検査の活用」 産婦人科					
	(インシンポジウム 「産婦人科超音波におけるAIの活用」 2)シンポジウム 「超音波診断の物理的限界をカバーするその他の診断法を考える」 3)パネルディスカッション 「FGR胎児の機能評価ー分娩のタイミングー」 4)パネルディスカッション 「超音波による胎児形態の標準的評価法について」 5)パネルディスカッション 「産婦人科における3D-4D超音波の役割」 乳腺					
	1)シンポジウム 「血流を極める」 2)シンポジウム 「乳腺領域のAIの進歩と可能性」 3)パネルディスカッション 「乳腺超音波ガイド下インターベンション」 4)パネルディスカッション 「総合画像診断における超音波検査の位置づけ」 5)ワークショップ 「乳癌取り扱い規約分類に基づく超音波診断」 6)ワークショップ 「乳腺診療におけるPOCUS」 運動器(整形)					
	1)シンポジウム 「運動器エコーの初心者必聴!〜達人がエッセンスを教えます〜」 2)シンポジウム 「運動器超音波の最前線ー発展する技術で運動器を評価するー」 3)シンポジウム 「運動器遠隔超音波診療、現状と未来への展望」 4)シンポジウム 「リハビリテーションとアスリートサポートに役立つ!運動超音波を使った診療 アイディア」					
	5)パネルディスカッション 「あなたはできる!?〜超音波ガイド下注射の達人技〜」 呼吸器 1)シンポジウム 「やってみよう肺エコー!」 2)シンポジウム 「領域横断:withコロナ時代の超音波」 3)シンポジウム 「温故知新 — 呼吸器超音波のこれまでを振り返る」					
	小児科 1)シンポジウム 「小児心疾患をプラスアルファの心エコーで捉える - 普及へ向けて」 2)シンポジウム 「小児のPoint-of-care ultrasound: 有効性と限界を知る」 3)ワークショップ 「発熱患者のエコー検査 — 症状別の鑑別疾患と除外すべき疾患」					

```
甲状腺頭頸部
                                         び、原現戦時
1)シンポジウム 「福島県県民健康調査甲状腺検査-震災後10年を過ぎて一」
2)シンポジウム 「日常診療に活かす甲状腺・頭頸部超音波」
3)パネルディスカッション 「甲状腺結節(腫瘤)超音波診断基準の改訂に向けて」
4)ワークショップ 「甲状腺超音波ガイド下穿刺専門資格について」
5)ワークショップ 「副甲状腺疾患の超音波診断」
                                     血管(脳神経含む)
1)シンポジウム
2)シンポジウム
                                                                       「脳神経超音波最前線」
「超音波装置を最大限に活かす — 血管エコーで知っておきたい原理から最新技
                                                                     術まで」
「末梢動脈エコー
                                         例まで」
3)シンポジウム「末梢動脈エコーを極める」
4)パネルディスカッション 「静脈エコーを極める」
5)パネルディスカッション 「血管超音波指導検査士:認定に向けての取り組み」
6)パネルディスカッション 「超音波検査のパニック所見:実臨床での役割と意義」
7)パネルディスカッション 「その所見、そこで検査をやめていいですか? + α を意識した血管エコー検査のあり方」
                                     1)シンポジウム 「肝弾性度および脂肪定量の測定法のコツと精度管理について」
2)ワークショップ 「超音波検査者教育 検査士取得から継続教育、指導検査士取得への挑戦」
3)ワークショップ 「超音波検査と装置の精度管理とメンテナンス 各施設の取り組み」
救急 (POCUS・横断)
                                         1)パネルディスカッション 「チーム医療におけるPOCUS – 多職種連携とPOCUS –」
2)パネルディスカッション 「多様化する急性期POCUS ~未来へ向けての提言~」
3)パネルディスカッション 「Point-of-Care超音波の未来を語る-10年後を見据えて-」
                                     基礎(工学)
                                         元(エ子)
1)シンポジウム
2)シンポジウム
3)シンポジウム
4)シンポジウム
                                                                       「超音波による細胞の機械刺激が開く新しい可能性」
「光音響・高周波超音波」
「血流の可視化・測定の新技術」
「超音波診断におけるAI応用の新潮流」
                                     4)シンボジウム 「超音波診断におけるAI応用の新潮流」
教育関連
ワークショップ 「領域を超え超音波診断学をまねぶ(学ぶ)~聴診・触診よりエコーでしょ!」
1)「ザ・ライブ 専門医師・技師のscanからまねぶ こんなエコーをしてみたい!」
2)「診療で活かせるエコーをまねぶ 自分であてて診療に活かすコツ!」
3)「無症状時のエコーの活用法をまねぶ 臨床生化学データの異常値をエコーに活かす!」
4)「救急疾患のエコーをまねぶ あてて、見るだけ!ポイントオブケア超音波」
5)「効果的な超音波の教え方をまねぶ 私はこうして教えています」
6)「効果的な超音波検査の教わり方をまねぶ こうやって教えてもらうのはいかがですか?」
                                    機器及び安全に関する委員会主催
1)パネルディスカッション 「SWEのリスクとベネフィットを考える」
2)「超音波検査室内環境整備及び検査機器消毒に関するアンケート結果報告」
キャリア支援・ダイバーシティ推進委員会企画 「働き方改革について考える」
新人賞口演
必修講習会
その他
                                     第21回日本
第21回日本
ランチョンセミナー
ハンズオンセミナー/ライブデモンストレーション
ファイヤーサイドトーク
機器展示
                                          16社
```

W 地方会学術集会

下記の地方会学術集会を開催した。 a. 北海道地方会学術集会

第52回 会長 赤坂 和美 令和4年10月15日(土) 於:北海道大学学術交流会館(北海道札幌市)(ハイブリッド開催) 参加者:429名 演題数:37題

b. 東北地方会学術集会 第64回

第65回 会長 齋藤

地方云子剛素云 64回 会長 志村 浩己 令和4年9月11日(日) 於:コラッセふくしま(福島県福島市) 参加者:394名 演題数:26題 65回 会長 齋藤 英郎 65回 会長 齋藤 ブル ホルナヴェヴュ電子情報システム応物系 復興記念教育研究未来創

c. 関東甲信越地方会学術集会

第34回 会長 山口 臣 令和4年9月24日(土)~25日(日) 於:シェーンバッハ砂防(東京都千代田区) 参加者:1,373名 演題数:

演題数:58題 e. 関西地方会学術集会 第49回 会長 泉

6. 関語地方子科表 第49回 会長 泉 知里 令和4年10月8日(土) 於:大阪国際会議場(大阪府大阪市) 参加者:1,031名 演題数:99題 f. 中国地方会学術集会 第58回 会長 伊達 健二郎

令和4年9月3日(土) (ウェブ開催) 参加者:371名 演題数:47題

g. 四国地方会学術集会 第32回 会長 耕

耕崎

· 於:徳島大学大塚講堂(徳島県徳島市)ハイブリッド開催 参加者:346名 演題数:

h. 九州地方会学術集会 第32回 会長 有田 武史

令和4年10月2日(日) 3D仮想空間GAIA TOWNにて開催(ウェブ開催) 参加者:580名 演題数:76題

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業] V 教育セッション・超音波診断講習会・小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)・必修講習会 a. 教育セッション

第21回教育セッション

今和4年5月20日(金)~22日(日)、及び令和4年6月1日(水)から7月31日(日)(オンデマンド配信) 参加者

1,703名 b. 超音波診断講習会 超音波講習会(心エコー図) 令和5年2月4日(土)(ライブ配信)、及び令和5年2月8日(水)~3月8日(水)(オンデマンド配信) 参加者 386名(延べ人数)

超音波講習会(消化管)

d. 必修講習会

第1回~第5回必修講習会

(第95回学術集会受付) 受講者:721名 第7回必修講習会

(第43回中部地方会学術集会受付) 受講者:82名

第9回必修講習会 (第34回関東甲信越地方会学術集会受付) 受講者:288名

第10回必修講習会

(第49回関西地方会学術集会受付) 受講者:171名

第11回必修講習会 (第52回北海道地方会学術集会受付) 受講者:59名

第12回必修講習会 (第32回四国地方会学術集会受付) 受講者:29名 ※第6回、第8回は地方会学術集会がウェブ開催のため中止した。

VI

T 各種委員会等 [会員相互補助事業]

企画委員会 a.遊休資産への対応について検討を行った。 b.第31回日本医学会総会分科会・加盟学会展示への参加について検討を行った。

[公益目的事業

機器及び標準化に関する委員会

- a.「SWE (shear wave elastography)の標準化小委員会」において、SWEの標準化に関する検討を行った。 b.超音波診断機器の規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議(IEC)に委員会の推薦する1名を派遣し
- $c. \frac{c.}{2}$ 安全委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用のカリキュラムの 検討を行った。 d. 新しい機器に関する啓発活動を行った。 e. 会員からの機器に関する問い合わせに対応した。

[公益目的事業 調 3 安全委員会 調査研究事業]

検討を行った。

- [公益目的事業 学会誌等出版事業]
 4 編集委員会
 a. 和文誌「超音波医学」(7冊):第49巻Supplement号、3~6号、及び第50巻1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊):第49巻2~4号、及び第50巻1号の計11冊を発行した。(Supplement号については電子版のみ発行した。)(Ⅱ項参照)
 b. 総説、及び特集などの執筆を依頼し、総説13編、特集14編を掲載した。
 c. Impact Factor値の上昇の方策について検討を行った。
 d.メールマガジンとして会告号、機関誌号、イベント号の配信を行った。

[公益目的事業 調査研究事業] 5 用語・診断基準委員会 a. 医用超音波用語関係

- - △円起目が7月前関係 1) 医用超音波用語集改訂を随時行い、ホームページに反映した。 2) 他学会との交流、及び連携を図り、用語の整合性について検討を行った。

b 診断基準関係

- 診断基準関係 1)「腫瘤像非形成性乳腺疾患ガイドライン小委員会」公示に向けて検討を行った。 2)「結節甲状腺腫診断基準検討小委員会」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。 3)「消化管診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。 4)「胆嚢腫瘍診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。 5)「乳腺造影超音波診断基準検討小委員会」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。 6)「超音波による四肢動脈病変の標準的評価法2020検討小委員会」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行っ

- 7)「直ちに報告すべき異常値/異常所見検討小委員会」公示に向けて検討を行った。 8)「超音波による頸動脈の標準的評価法(追補版)検討小委員会」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。 9)「超音波によるバスキュラーアクセスの標準的評価法小委員会」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。

10) 「胎児発育不全の診断に関する小委員会」(案) パブリックコメント募集に向けて検討を行った。

[法人事業/法人管理関係]

- a. 次回療報酬改定に向け要望項目について、会員にアンケート調査を行い、次回診療報酬改定に向けての準備を行 った
- b. 引き続き、内保連・外保連に委員を派遣し、関連他学会との情報交換を行った。 c. 例年のように超音波専門医研修施設宛に各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の実態把 握のためのアンケート調査を行った。

- [公益目的事業 国際交流事業]
 7 国際交流委員会
 a. 公益社団法人日本超音波医学会奨学制度 (JSUM Fellowship) 関係
 「公益社団法人日本超音波医学会奨学制度 要施要領」に準拠して、下記の活動を行った。
 1)パンデミックによって2021年度研修生 1 を実施支援したが、2021年度、2023年度の研修生は実施を保留している。

 - 2)2024度JSUM Fellowship研修生を公募し、4名を選考した。 3)今後の国際貢献の在り方について検討した。 b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係 1)インドで開催されたAFSUMB大会に学術、広報などの面で協力した。 2)令和5年11月4日~7日にオマーン・マスカット市において開催される第19回WFUMB大会に学術、広報などの面
 - 3)2025年5月9日~11日に韓国ソウル市において開催される第16回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力した。 4)英文誌(Journal of Medical Ultrasonics)並びにAFSUMB、及び本会のウェブサイトにおいてJSUM Fellowshipの

[公益事業 学術集会・講習会等事業]

- 『余・テッキス 明日 A サザネ』 教育委員会 a. 第95回学術集会会期中に名古屋国際会議場を会場として、第21回教育セッションを開催した。開催終了後にオンデ マンド配信も行った。 b. 第96回学術集会会期中に開催予定の「第22回教育セッション」を企画し、開催に向けての準備を行った c. 「超音波診断講習会」をWEB開催(心エコー図・消化器)にて計2回開催した。

 - d. 必修講習会を計10回開催した。
 - e. 2022年度中に小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)、新型コロナウイルス感染状況を見極めて実施を行わなかっ

 - f. 2023年度に開催する小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)の企画について検討を行った。 g. 医学教育における超音波関連の項目に関する検討を、機器及び安全に関する委員会と共同で超音波医学教育ワーキンググループを立ち上げ、超音波医学教育用カリキュラムの策定準備を行った。

[収益事業

- - b. 令和5年度研修施設及び研修施設群の指定に向けて審査を実施し、新規24施設(研修施設17施設、基幹施設5施設、連携施設2施設)、更新62施設(研修施設37施設、基幹施設23施設、連携施設2施設)、指定変更2施設(研修施設37

 - 施設)を指定した。
 c. 第32回超音波専門医認定試験を実施し、合格者125名の認定・登録を行った。
 d. 第33回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。
 e. 第28回超音波専門医認定情報で表生、更新者354名、猶予者2名の認定・登録を行った。
 f. 令和4年度超音波指導医認定審査を実施し、再認定236名、新規81名の認定・登録を行った。
 g. 超音波専門医認定試験問題集第7版の発行のため編集委員会を組織し、編集作業を行った。
 h. 超音波専門医制度に関わるウェブサイトページの充実化を図った。
 i. 超音波専門医制度に関する会員への啓発を積極的に行った。

[公益目的事業 表彰事業]

- - Low complexity generalized coherence factor estimated from binarized signals in ultrasound

 - lLow complexity generalized conerence Tactor estimated from binarized signals in ultrasound beamforming] (J Med Ultrasonics Vol. 48, No. 3)
 Masanori Hisatsu^{1,2}, Shohei Mori³, Mototaka Arakawa^{2,3}, Hiroshi Kanai^{2,3}
 ('FUJIFILM Healthcare Corporation, 'Graduate School of Biomedical Engineering, Tohoku University,
 ³Graduate School of Engineering, Tohoku University)
 e. 第17回伊東賞(論文賞)の選考を行い、以下の2編に授与した。
 [Shear wave伝搬速度に影響を与える因子の定量的検討を基にした肝線維化診断法の研究](超音波医学 Vol. 48,
 - - NO.4) 飯島尋子^{1,2}、多田俊史^{1,4}、蜂屋弘之³、西村貴士^{1,2}、西村純子²、吉田昌弘²、會沢信弘¹、平田慎之介⁵、熊田 卓⁶ (「兵庫医科大学消化器内科、²兵庫医科大学超音波センター、³東京工業大学工学院システム制御系、 ⁴姫路赤十字病院内科、³千葉大学フロンティア医工学センター、⁸岐阜協立大学看護科) 「Noninvasive ultrasound technique for assessment of liver fbrosis and cardiac function in Fontan associated liver disease: diagnosis based on elastography and hepatic vein waveform type](J Med Ultrasonics Vol. 48. No. 2)

```
Yohei Koizumi<sup>1</sup>、 Masashi Hirooka<sup>1</sup>、 Takaaki Tanaka<sup>1</sup>、 Takao Watanabe<sup>1</sup>、 Osamu Yoshida<sup>1</sup>、 Yoshio Tokumoto<sup>1</sup>、 Takashi Higaki<sup>2</sup>、 Mariko Eguchi<sup>3</sup>、 Masanori Abe<sup>1</sup>、 Yoichi Hiasa<sup>1</sup> (Department of Gastroenterology and Metabology, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Molecule and Function, Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, <sup>3</sup>Department of Pediatrics, <sup>4</sup>Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of
                                                   [北海道地方会]
                                         【基礎】「超音波照射によるプラスチックシェルを貪食した樹状細胞のCa2+濃度変化誘導の高速度観察」
大竹直幸 (北海道大学大学院情報科学院生体情報工学専攻人間情報工学研究室)
【循環器】「縦隔腫瘍に合併した肺動脈狭窄症に対して、経胸壁心エコー図指標が化学療法施行に有用であった1
                                     例」
                                                                                       (札幌医科大学循環器·腎臓·代謝内分泌内科学講座)
                                      [東北地方会]
【循環器】「大動脈弁狭窄症の診断・重症度評価における頚動脈エコーによる収縮期加速時間の有用性」
                                                                                        (東北医科薬科大学医学部)
                                                 武居翔也
                                      成店翔也 (東北医科条件人子医子部)
[関東甲信越地方会]
【循環器】「典型的な超音波所見に加え、他の特異的な臨床所見から鑑別に至った心アミロイドーシスの1例」
- 市川沙綾 (昭和大学病院医学部内科学講座循環器内科学部門)
                                      [中部地方会]
【産婦人科】「多発性傍大動脈リンパ節転移を認めた卵巣明細胞癌の1例」
                                     【 上婦人科】「多発性別人動脈リンハ町転移を認めた卵巣明細胞癌の「物森将 (トヨタ記念病院 産婦人科)
【消化器】「EUS-FNAが診断に有用であった膵腺房細胞癌の1例」
亀島沙也香(藤田医科大学病院消化器内科)
[関西地方会]
【基礎】「超音波照射による抗酸化能の増強とサルコペニア予防の検討」
                                    【基礎】 超音波照射による抗酸化能の増強とサルコペニア
松田悠佑 (同志社大学医生命システム専攻)
【泌尿器】「膀胱機能成熟前の乳幼児の排尿パターンの研究
安食 淳 (京都府立医科大学泌尿器外科)
[中国地方会]
【消化器】「急性胆嚢炎の診断基準に関する検討」
伊藤 駿 (川崎医科大学附属病院医育成支援センター)
                                                                                                                                                                                                                       -ンの研究」
                                      [四国地方会]
                                        [哲国地グス]
【産婦人科】「HDI ive を用いた先天性心疾患の評価」
鎌田恭輔 (香川大学医学部母子化学講座周産期学婦人科学)
【消化器】「多発肝転移を伴った胃神経内分泌細胞癌の1例」
丹下正章 (愛媛県立今治病院消化器内科)
                                     ガドビ早(愛媛県立ラ治病院/月に番内科)

[九州地方会]
【循環器】「異なる臨床病型を呈したValsalva洞-右室瘻の2例」

三嶋悠佳 (宮崎大学医学部附属病院)

【消化器】「非常に稀な病態を呈した虫垂原発病変2症例」

渡邊祐作 (霧島市立医師会医療センター臨床研修医)
| 経典業 資格認定事業]
| 11 超音波検査士制度委員会
| a. 第37回超音波検査士認定試験を実施し、合格者1,360名の認定・登録を行った。
| b. 第32回超音波検査士資格更新を実施し、更新者10名、猶予9名の認定・登録、及び第33回超音波検査士資格更新を実施し、更新者2,807名、猶予46名の認定・登録を行った。
| c. 第10回超音波指導検査士(腹部領域及び血管領域)認定試験を実施し、血管領域合格者1名の認定・登録を行った。
| d. 第6回超音波指導検査士(腹部領域)資格更新を実施し、更新者6名の認定・登録を行った。
| e. 超音波検査士の育成を図った。
| f. 「超音波指導検査士(腹部領域及び体表臓器領域)認定試験のための講習会」をオンラインにて配信を行った。
```

「収益事業

[収益事業

- 資格認定事業]
 超音波工学フェロー認定審査委員会
 a. 第24回超音波工学フェローの公募を実施し、申請者 4 名に対して認定審査を行い適格と判定した 4 名を令和 4 年 10月 1 日付で認定・登録を行い、本会ウェブサイトに公示した。
 b. 第19回超音波工学フェロー資格更新を実施し、認定審査を行い適格と判定した更新者12名の認定・登録を行い本会ウェブサイトに公示した。
 - ウェブサイトに公示した

 - c. 超音波エ学フェロー制度の活性化の議論を行うとともに、対象者となる可能性のある会員への周知を行った。 d. 超音波エ学フェロー有資格者の認知度向上を目指し構築した「エ学フェロー検索システム」の広報を行い、浸透を図った。本システムへの登録者数は71名となった(2023年3月末時点)。

[公益目的事業 研究開発促進事業] 13 研究開発促進委員会

a. 令和4年度研究会設置申請3件の審査を行い、以下の3件(継続2件・新規1件)の研究会の設置を認可した。

- 1)基礎技術研究会(新規)
- 2) 超音波分子診断治療研究会(継続) 3) 頸部リンパ節超音波研究会(継続)
- b. 令和5年度研究会設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(本会ウェブサイト 令和4年9月)

[法人事業/法人管理関係]

74年7月7日7日2日7日 14 倫理委員会 倫理に関する事項について検討を行った。

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業] 15 学術集会委員会

学術集会の在り方を考えて、その運営が円滑に行われるように委員会の体制の検討を行った。

- [公益目的事業 学会誌等出版事業] 16 広報委員会 a.本会の学会情報を学会誌、及びインターネット等により広報を行った。 b.本会ウェブサイト全般についての管理を行い、利便性の向上を図った。 c.SNSを使った広報活動について広報ワーキンググループを立ち上げ検討を行った

[公益目的事業

- 目的事業 学術集会・講習会等事業] 地方会委員会 a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進 1)各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行った。 2)地方会交付金の算定を行い、交付した。 3)地方会学術集会に関して助言を行った。

 - 3)地方会并附来去に関して明言を行った。 4)地方会講習会に関して助言を行った。 5)学術集会委員会と共同して正会員増加に関する検討を行った。 b. 地方会委員会会議、及び地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行った。 c. 地方会を通じて正会員数の増加を推進した。 d. 各地方会学術集会演題受付ウェブシステムを利用し、抄録のウェブ掲載を行った。

[法人事業/法人管理関係]

- 入事来/ 広八号性図内」 18 利益相反委員会 a.利益相反に関する全体的なマネージメントを行った。 b.利益相反に関する指針の改訂の検討を行った。

[会員相互補助事業]

日19 災害対策委員会 災害発生後の医療支援活動が円滑に行えるよう、予め各都道府県で装置の借り受け窓口、及び管理を一任し 災害発生後の医療支援活動が円滑に行えるよう、予め各都道府県で装置の借り受け窓口、及び管理を一任し 医師を学会事務局で管理把握するため、各都道府県の医療支援活動窓口担当者に変更がないか調査を行った。 ·任して貰える

- [会員相互補助事業] 20 キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会 a. 第95回学術集会にキャリア支援・ダイバーシティー推進委員会企画として、「働き方改革について考える」を開催し
 - b. $\overset{\leftarrow}{n}$ \tilde{n} $\overset{\leftarrow}{n}$ $\overset{\leftarrow}{n}$ $\overset{\leftarrow}{n}$ $\overset{\leftarrow}{n}$ $\overset{\leftarrow}{n}$ $\overset{\leftarrow}{n}$
 - c. 日本医師会女性医師支援担当者連絡会に参加した。

[公益目的事業 調査研究事業]
21 超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会
臨床研究等のICT基盤構築に関する調査研究事業として、次世代に向けた超音波画像データベースを構築し超音波の人
工知能診断開発研究に取り組んだ。肝腫瘍、乳腺腫瘍、循環器領域の3領域において収集したビッグデータの深層学習
をもとに人工知能診断ソフトを開発した。特に肝腫瘍では社会実装化を目指して薬事承認を取得すべく規制当局(独立
行政法人 医薬品医療機器総合機構)並びに超音波機器メーカーとともに協議を続けている。その協議に基づいて第1回
目の臨床試験を行った。また社会実装化に向けて日本超音波医学会と複数の超音波装置メーカーとの共同開発契約締結
ならびに薬事承認に向けた協議を行った。

[法人事業/法人管理関係]
22 会員資格審査関係
会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記の認定の審査を行った。
a. 入会希望者、及び退会希望者の審査
b. 会員資格喪失該当者の審査
c. 会員種別変更希望者の審査

- d. 休会希望者の審査
- e. 災害被害者の会費免除希望者の審査

[法人事業/法人管理関係]

23 規約関係

理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、改正、及び廃止について逐次審議し、作案した。

a. 制定

- b. 改正

 - 成止
 1)公益社団法人日本超音波医学会職員給与規則(令和5年1月20日改正)
 2)公益社団法人日本超音波医学会名誉会員規則(令和5年3月3日改正)
 3)公益社団法人日本超音波医学会認定超音波専門医制度規則(令和5年1月20日改正)
 4)公益社団法人日本超音波医学会認定超音波指導医の推薦・委嘱に関する内規(令和5年1月20日改正)
 5)公益社団法人日本超音波医学会認定超音波検査士制度規則(令和5年3月3日改正)
 6)公益社団法人日本超音波医学会認定超音波検査士資格更新実施内規(令和5年3月3日改正)
 7)公益社団法人日本超音波医学会認定超音波工学フェロー制度規則(令和5年1月20日改正)
 8)公益社団法人日本超音波医学会認定超音波工学フェロー制度規則(令和5年1月20日改正)

 - 9)公益社団法人日本超音波医学会認定超音波指導検査士規則(令和5年1月20日改正)

10)公益社団法人日本超音波医学会認定超音波指導検査士資格更新実施内規(令和5年3月3日改正)

[法人事業/法人管理関係]24 個人情報保護関係本会が保有する個人情報提を適切に管理した。

- [会員相互補助事業] Ⅲ 日本医学会関係 1 日本医学会連合次期役員候補者を推薦した。 2 日本医学会定時総会に出席した。 3 日本医学会分会用語委員会に出席した。 4 第31回日本医学会総会に協力した。

[事業報告の附属明細書] 記載すべき事項はない。

令和4年度決算報告書

- 1. 財務諸表・附属明細書・財産目録
 - 1.1 貸借対照表 付.貸借対照表 内訳表
 - 1.2 正味財産増減計算書 付.正味財産増減計算書 内訳表
 - 1.3 財務諸表に対する注記
 - 1.4 附属明細書
 - 1.5 財産目録
- 2. 収支計算書(資金収支計算ベース)
 - 2.1 収支計算書(資金収支計算ベース)
 - 2.2 収支計算書(資金収支計算ベース)に対する注記

1. 1 貸借対照表

令和5年3月31日現在

科目	当年度	前年度	
I 資産の部	<u> </u>	ער דינו	78 11%
1.流動資産			
現金預金	132,332,976	211,405,532	△ 79,072,556
前払金	13,874,680	14,851,110	△ 976,430
仮払金	15,507,700	5,000,000	10,507,700
未収入金	19,851,903	3,531,563	16,320,340
流動資産 合計	181,567,259	234,788,205	△ 53,220,946
2.固定資産	101,007,200	204,700,200	2 00,220,040
(1)基本財産			
定期預金	36,000,000	36,000,000	0
よがほか 基本財産 合計	36,000,000	36,000,000	0
(2)特定資産	30,000,000	30,000,000	Ŭ
退職給付引当預金	82,086,010	70,086,010	12,000,000
減価償却引当預金	2,500,000	2,500,000	0
国際交流基金	4,500,000	4,500,000	0
システム開発基金	13,000,000	11,000,000	2,000,000
事務所整備基金	30,000,000	30,000,000	2,000,000
事物所整備基金 学術奨励基金	88,100,000	86,600,000	1,500,000
子州突加基立 伊東賞基金		15,336,631	
	14,736,631		△ 600,000 △ 200,000
工藤賞基金	5,700,000	6,000,000	△ 300,000
啓発準備資金 教育問連進供资金	12,000,000	0	12,000,000 20,000,000
教育関連準備資金	20,000,000	0	
データーベース整備資金	30,000,000	0	30,000,000
学術集会準備資金	23,000,000	0	23,000,000
特定資産 合計	325,622,641	226,022,641	99,600,000
(3)その他固定資産			A 00 00 4
建物付属設備	2	36,906	△ 36,904
什器備品	330,760	528,388	△ 197,628
ソフトウェア	5,802,135	7,350,935	△ 1,548,800
敷金	15,176,700	15,176,700	0
その他固定資産 合計	21,309,597	23,092,929	△ 1,783,332
固定資産合計	382,932,238	285,115,570	97,816,668
資産合計	564,499,497	519,903,775	44,595,722
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	6,241,957	5,167,333	1,074,624
前受会費	1,430,316	1,299,770	130,546
前受金	3,590,000	4,742,000	△ 1,152,000
預り金	263,436	157,954	105,482
会費仮受金	2,807,500	2,818,500	△ 11,000
反	394,016	355,986	38,030
賞与引当金	4,288,181	4,088,882	199,299
流動負債合計	19,015,406	18,630,425	384,981
2.固定負債	10,010,700	10,000,720	004,001
退職給付引当金	87,519,614	83,282,150	4,237,464
固定負債合計	87,519,614	83,282,150	4,237,464
負債合計	106,535,020	101,912,575	4,622,445
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	5,700,000	6,000,000	△ 300,000
指定正味財産合計	5,700,000	6,000,000	△ 300,000
(うち特定資産への充当額)	(5,700,000)	(6,000,000)	(△ 300,000)
2.一般正味財産	452,264,477	411,991,200	40,273,277
(うち基本財産への充当額)	(36,000,000)	(36,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(237,836,631)	(149,936,631)	(87,900,000)
正味財産合計	457,964,477	417,991,200	39,973,277
負債及び正味財産合計	564,499,497	519,903,775	44,595,722

1. 1一付 貸借対照表 内訳表

令和5年3月31日現在

					(単位:円)
科目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1.流動資産					
現金預金	14,710,537	16,781,513	100,840,926		132,332,976
前払金	7,228,960	6,402,910	242,810		13,874,680
仮払金	15,507,700	0	0		15,507,700
未収入金	19,334,210	0	517,693		19,851,903
流動資産 合計	56,781,407	23,184,423	101,601,429	0	181,567,259
2.固定資産					
(1)基本財産					
定期預金	0	0	36,000,000	0	36,000,000
基本財産 合計	0	0	36,000,000	0	36,000,000
(2)特定資産					
退職給付引当預金			82,086,010	0	82,086,010
減価償却引当預金			2,500,000	0	2,500,000
国際交流基金	4,500,000			0	4,500,000
システム開発基金	13,000,000			0	13,000,000
事務所整備基金			30,000,000	0	30,000,000
学術奨励基金	88,100,000		, , -	0	88,100,000
伊東賞基金	14,736,631			0	14,736,631
工藤賞基金	5,700,000			0	5,700,000
P	12,000,000			0	12.000.000
教育関連準備資金	20.000.000			0	20,000,000
データーベース整備資金	30,000,000			0	30,000,000
学術集会準備資金	23.000.000			0	23,000,000
特定資産 合計	211.036.631	0	114,586,010	0	325,622,641
(3)その他固定資産	211,000,001	•	111,000,010	<u> </u>	020,022,011
建物付属設備	0	0	2	0	2
什器備品	271,241	23,721	35,798	0	330,760
ソフトウェア	766,884	5,035,251	0	0	5,802,135
敷金	7,133,049	3,111,224	4,932,427	0	15,176,700
が並 その他固定資産 合計	8,171,174	8,170,196	4,968,227	0	21.309.597
固定資産合計	219,207,805	8,170,196	155,554,237	0	382,932,238
資産合計	275,989,212	31,354,619	257,155,666	0	564,499,497
Ⅱ 負債の部					
1.流動負債					
未払金	4,910,757	0	1,331,200	0	6,241,957
前受会費	0	0	1,430,316	0	1,430,316
前受金	0	3,590,000	0	0	3,590,000
預り金	51,050	0	212,386	0	263,436
会費仮受金	0	0	2,807,500	0	2,807,500
仮受金	0	0	394,016	0	394,016
賞与引当金	0	0	4,288,181	0	4,288,181
流動負債合計	4,961,807	3,590,000	10,463,599	0	19,015,406
2.固定負債					
退職給付引当金	0	0	87,519,614	0	87,519,614
固定負債合計	0	0	87,519,614	0	87,519,614
負債合計	4,961,807	3,590,000	97,983,213	0	106,535,020
III 正味財産の部	.,,,	-,,	.,,		-,,
1.指定正味財産					
I:指定止味財産 寄付金	5,700,000	0	0	0	5,700,000
指定正味財産合計	5,700,000	0	0	0	5,700,000
					, ,
(うち特定資産への充当額)	(5,700,000)	(0)	(0)	0	(5,700,000)
2.一般正味財産	265,327,405	27,764,619	159,172,453	0	452,264,477
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(36,000,000)		(36,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(205,336,631)	(0)	(32,500,000)	(0)	(237,836,631)
正味財産合計	271,027,405	27,764,619	159,172,453	0	457,964,477
負債及び正味財産合計	275,989,212	31,354,619	257,155,666	0	564,499,497

-正味財産増減計算書 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

<u> </u>		1		(単位:円)
科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部	-			
1.経常増減の部				1
			1	
(1)経常収益			1	
基本財産運用収入	720	720	0	1
特定資産運用収入	2,471	2,300	171	
入会金収入	1,649,500	1,435,000	214.500	
会費収入			,	
1.1 = 1 11	160,948,500	160,449,500	499,000	
事業収入	276,653,549	274,494,042	2,159,507	
参加費収入	(111,432,500)	(95,674,000)	(15,758,500)	
共催セミナー収入ほか	(71,450,951)	(80,859,200)	(△ 9,408,249)	
広告収入		(7,711,700)	(\(\triangle 257,000 \)	
	(7,454,700)			
試験・新規認定収入	(51,038,500)	(51,241,000)	(△ 202,500)	
更新認定収入	(23,030,500)	(24,645,500)	(\triangle 1,615,000)	
学会誌別刷収入	(90.000)	(122,500)	(\triangle 32,500)	
資料頒布収入	(10,022,170)	(11,370,794)	(\(\triangle 1,348,624 \)	
著作権 印税収入	(2,134,228)	(2,869,348)	(△ 735,120)	
寄付金収入	3,700,000	7,551,000	△ 3,851,000	1
寄付金収入	(3,400,000)	(7,551,000)	(△ 4,151,000)	
指定正味財産からの振替	(300,000)	(0)	(300,000)	1
		,		1
補助金・助成金収入	2,960,000	3,900,000	△ 940,000	1
受取利息収入	4,448	4,344	104	1
雑収入	457,463	110,780	346,683	1
THE POST S	157,400	1	0.0,000	1
				1
	<u> </u>			
経常収益計	446,376,651	447,947,686	△ 1,571,035	
12.11.21.21.	110,070,001	117,047,000	1,071,000	+
(2)経常費用				1
事業費	362,462,948	352,937,471	9,525,477	1
学会誌出版費	(28,634,611)	(26,129,050)	(2,505,561)	
発送経費	(3,862,975)	(3,587,259)	(275,716)	
校正費	(4,144,858)	(3,702,760)	(442,098)	
				1
顕彰関係費	(4,770,440)	(4,780,000)	(\triangle 9,560)	
奨学金	(0)	(1,200,000)	(\(\Delta \) 1,200,000)	1
給与手当	(30,422,107)	(27,992,553)	(2,429,554)	1
臨時雇い賃金	(6,309,849)	(7,749,967)	(\(\Delta \) 1,440,118)	1
法定福利費	(5,664,134)	(5,335,404)	(328,730)	1
				1
職員交通費	(987,741)	(899,046)	(88,695)	
会計顧問料	(550,000)	(550,000)	(0)	1
事務所賃借料	(13,544,309)	(13,644,637)	(\triangle 100,328)	1
文具消耗品費	(6,313,407)	(9,840,334)	(\triangle 3,526,927)	
光熱水料				
	(898,470)	(879,259)	(19,211)	<u> </u>
会場・会議費	(108,223,159)	(122,366,131)	(△ 14,142,972)	学術集会会場費等
印刷費	(11,527,433)	(13,670,431)	(△ 2,142,998)	
通信•運搬費	(8,235,542)	(9,010,687)	(△ 775,145)	1
旅費・交通費	(7,841,038)	(2,508,720)	(5,332,318)	1
支払手数料		(4,935,738)	(1,797,014)	1
システム運営費	(35,037,391)	(9,610,709)	(25,426,682)	1
租税公課	(4,012,248)	(4,515,387)	(△ 503,139)	
業務委託費	(51,271,873)	(61,734,891)	(\triangle 10,463,018)	1
会費・分担金	(3,689,915)	(3,103,828)	(586.087)	AFSUMB分担金を含む
			1 : ' : ' :	A SOMDが担重で30
関連行事費	(5,080,724)	(0)	(5,080,724)	
諸謝金	(7,146,908)	(8,482,116)	(△ 1,335,208)	1
雑費	(74,800)	(92,400)	(\triangle 17,600)	1
賞与引当金繰入額	(2,894,523)	(2,759,996)	(134,527)	
退職給付費用	(2,860,289)	(3,325,874)	(\(\triangle 465,585 \)	1
				1
減価償却費	(1,731,452)	(530,294)	(1,201,158)	1
管理費	43,640,426	41,728,113	1,912,313	1
給与手当	(16,900,530)	(15,756,847)	(1,143,683)	1
会計顧問料	(880,000)	(880,000)	(0)	
			1 :	
福利厚生費	(421,572)	(432,663)	, , ,	1
法定福利費	(2,727,175)	(2,568,898)	(158,277)	
職員交通費	(475,579)	(432,874)	(42,705)	
事務所賃借料	(6,521,335)	(6,421,007)	(100,328)	1
事務用機器賃借料			(9,720)	
		(910,896)		
文具消耗品費	(281,476)	(222,886)	(58,590)	1
光熱水料	(432,596)	(413,768)	(18,828)	1
事務OA化費	(1,473,648)	(1,077,136)	(396,512)	
会場・会議費	(332,884)	(329,445)	(3,439)	1
				1
印刷費	(949,522)	(907,024)	(42,498)	
通信•運搬費	(1,108,587)	(1,085,904)	(22,683)	
旅費交通費	(773,481)	(452,098)	(321,383)	1
				•

科目	当年度	前年度	増減	備考
租税公課	(2,306,252)	(2,485,213)	(\(\Delta \) 178,961)	
支払手数料	(2,017,978)	(2,022,364)	(△ 4,386)	
システム運営費	(245,212)	(193,622)	(51,590)	
会費・分担金	(1,045,200)	(1,051,850)	(\triangle 6,650)	
各種保険料	(240,450)	(170,850)	(69,600)	
業務委託費	(396,000)	(547,250)	(\(\Delta \) 151,250)	
推費 賞与引当金繰入額	(367,620) (1,393,658)	(372,220) (1,328,886)	(△ 4,600) (64,772)	
退職給付費用	(1,377,175)	(1,601,346)	(
減価償却費	(51.880)	(63,066)	(\(\Delta \) 11,186)	
100 m 100 m 100	(01,000)	(30,000)	2 11,100 /	
経常費用計	406,103,374	394,665,584	11,437,790	
当期経常増減額	40,273,277	53,282,102	△ 13,008,825	
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	40,273,277	53,282,102	△ 13,008,825	
一般正味財産期首残高	411,991,200	358,709,098	53,282,102	
一般正味財産期末残高	452,264,477	411,991,200	40,273,277	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取交付金	0	0	0	
受取補助金等	0	0	0	
受取寄附金	0	6,000,000	△ 6,000,000	
一般正味財産への振替額				
受取交付金	()	()	0)	
受取補助金等	()	()	0)	
受取寄附金	(△ 300,000)	(0)	△ 300,000)	
当期指定正味財産増減額	△ 300,000	6,000,000	△ 6,300,000	
指定正味財産期首残高	6,000,000	0	6,000,000	
指定正味財産期末残高	5,700,000	6,000,000	△ 300,000	
III 正味財産期末残高	457,964,477	417,991,200	39,973,277	

1.2-付 正味財産増減計算書 内訳表 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

	公益目的事業会計	収益事業	等会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合計
	Z III III III III III III III III III I	資格認定事業	会員相互補助事業	小計	227241	1 14640 213260	ни
I 一般正味財産増減の部 1.経常増減の部							
(1)経常収益 基本財産運用収入	0	0	0	0	720		720
特定資産運用収入	2,471	0	0	0	0		2,471
入会金収入 会費収入	824,750 80,474,250	0	0 0	0	824,750 80,474,250		1,649,500 160,948,500
参加費収入 共催セミナー収入ほか	111,432,500 71,450,951	0	0	0	0		111,432,500 71,450,951
広告収入	7,454,700	Ö	0	Ö	0		7,454,700
試験·新規認定収入 更新認定収入	0	51,038,500 23,030,500	0 0	51,038,500 23,030,500	0 0		51,038,500 23,030,500
学会誌別刷収入 資料頒布収入	90,000 10,022,170	0	0	0	0 0		90,000 10,022,170
著作権·印税収入	2,134,228	0	0	0	0		2,134,228
寄付金収入 指定正味財産からの振替	3,400,000 300,000	0	Ö	0 0	0 0		3,400,000 300,000
補助金·助成金収入 受取利息収入	2,960,000 174	0	0 0	0	0 4,274		2,960,000 4,448
雑収入	447,463	0	0	0	10,000		457,463
経常収益計	290,993,657	74,069,000	0	74,069,000	81,313,994	0	446,376,651
(2)経常費用 事業費							
学会誌出版費 発送経費	28,634,611 3,862,975	0	0 0	0			28,634,611 3,862,975
校正費 表彰関係費	4,144,858 4,770,440	0	0	0			4,144,858 4,770,440
給与手当	21,199,092	8,079,241	1,143,774	9,223,015			30,422,107
臨時雇い賃金 会計顧問料	4,461,603 550,000	1,848,246 0	0 0	1,848,246 0			6,309,849 550,000
法定福利費 職員交通費	4,069,785 709,710	1,384,566 241,448	209,783 36,583	1,594,349 278.031			5,664,134 987,741
報告を通り 事務所賃借料 文具消耗品費	9,731,837	3,310,831	501,641 0	3,812,472			13,544,309 6,313,407
光熱水料	6,115,891 645,567	197,516 219,626	33,277	197,516 252,903			898,470
会場·会議費 印刷費	88,332,800 8,020,171	19,890,359 3,507,262	0 0	19,890,359 3,507,262			108,223,159 11,527,433
通信·運搬費 旅費·交通費	4,210,366 6,167,392	3,939,900 1,658,606	85,276 15,040	4,025,176 1,673,646			8,235,542 7,841,038
支払手数料	5,205,915	1,526,837	0	1,526,837			6,732,752
システム連営費 租税公課	33,052,091 2,969,695	1,982,000 1,042,553	3,300 0	1,985,300 1,042,553			35,037,391 4,012,248
業務委託費 会費·分担金	49,689,391 3,689,915	1,582,482 0	0 0	1,582,482 0			51,271,873 3,689,915
関連行事費 諸謝金	5,080,724 4,025,482	0 3,019,500	0 101,926	0 3,121,426			5,080,724 7,146,908
雑費	0	74,800	0	74,800			74,800
賞与引当金繰入額 退職給付費用	2,079,768 2,055,170	707,550 699,182	107,205 105,937	814,755 805,119			2,894,523 2,860,289
減価償却費 事業費計	345,727 303,820,976	1,381,734 56,294,239	3,991 2,347,733	1,385,725 58,641,972	0	0	1,731,452 362,462,948
管理費 給与手当					16,900,530		16,900,530
会計顧問料 福利厚生費					880,000 421,572		880,000 421,572
法定福利費					2,727,175		2,727,175
職員交通費 事務所賃借料					475,579 6,521,335		475,579 6,521,335
事務用機器賃借料 文具消耗品費					920,616 281,476		920,616 281,476
光熱水料 事務OA化費					432,596 1,473,648		432,596 1,473,648
会場·会議費 印刷費					332,884 949.522		332,884
通信・運搬費					1,108,587		949,522 1,108,587
旅費交通費 租税公課					773,481 2,306,252		773,481 2,306,252
支払手数料 システム運営費					2,017,978 245,212		2,017,978 245,212
会費・分担金 各種保険料					1,045,200		1,045,200
業務委託費					240,450 396,000		240,450 396,000
雑費 賞与引当金繰入額					367,620 1,393,658		367,620 1,393,658
退職給付費用 減価償却費					1,377,175 51,880		1,377,175 51,880
管理費計	0	0	0 2.347.733	59.641.072	43,640,426	0	43,640,426
経常費用計 当期経常増減額	303,820,976 △ 12,827,319	56,294,239 17,774,761	2,347,733 \(\triangle 2,347,733	58,641,972 15,427,028	43,640,426 37,673,568	0	406,103,374 40,273,277
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 12,827,319			15,427,028	37,673,568	0	40,273,277
他会計振替額 当期正味財産増減額	5,498,476 Δ 7,328,843			△ 5,498,476 9,928,552	0 37,673,568	0	0 40,273,277
一般正味財産期首残高	272,656,248			17,836,067	121,498,885	0	411,991,200
一般正味財産期末残高 II 指定正味財産増減の部	265,327,405			27,764,619	159,172,453	0	452,264,477
受取交付金	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等 受取寄附金	0	0	0	0	0	0 0	0
一般正味財産へ振替	300,000	0	0	0	0	0	300,000
受取寄附金	(300,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(300,000)
当期指定正味財産増減額 指定正味財産期首残高	△ 300,000 6,000,000	0	0	0	0	0	△ 300,000 6,000,000
指定正味財産期末残高	5,700,000	0	0	0	0	0	5,700,000
Ⅲ 正味財産期末残高	271,027,405			27,764,619	159,172,453	0	457,964,477

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却の方法 法人税法に規定する定額法による。

- (2)引当金の計上基準

(2) 引国並いal 上金子 ①退職給付引当金 職員に対する退職給与の支給に備えるため、法人都合による期末要支給額を計上している。

職員に支給する賞与の支出に充当するため、支給見込額を計上している。

(3)消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

					(単位:円)
科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
基本財産					
定期預金	36,000,000	0	0	36,000,000	
小 計	36,000,000	0	0	36,000,000	
特定資産					
退職給付引当預金	70,086,010	12,000,000	0	82,086,010	
減価償却引当預金	2,500,000	0	0	2,500,000	
国際交流基金	4,500,000	0	0	4,500,000	
システム関連基金	11,000,000	2,000,000	0	13,000,000	
事務所整備基金	30,000,000	0	0	30,000,000	
学術奨励基金	86,600,000	1,500,000	0	88,100,000	
伊東賞基金	15,336,631	0	600,000	14,736,631	
工藤賞基金	6,000,000	0	300,000	5,700,000	
啓発準備資金	0	12,000,000	0	12,000,000	
教育関連準備資金	0	20,000,000	0	20,000,000	
データーベース整備資金	0	30,000,000	0	30,000,000	
学術集会準備資金	0	23,000,000	0	23,000,000	
小 計	226,022,641	100,500,000	900,000	325,622,641	
合 計	262,022,641	100,500,000	900,000	361,622,641	

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産			0	
定期預金	36,000,000	0	36,000,000	0
小 計	36,000,000	0	36,000,000	0
特定資産				
退職給付引当預金	82,086,010	-	-	82,086,010
減価償却引当預金	2,500,000	-	2,500,000	-
国際交流基金	4,500,000	-	4,500,000	-
システム関連基金	13,000,000	-	13,000,000	_
事務所整備基金	30,000,000	-	30,000,000	-
学術奨励基金	88,100,000	-	88,100,000	-
伊東賞基金	14,736,631	-	14,736,631	-
工藤賞基金	5,700,000	5,700,000	-	-
啓発準備資金	12,000,000	-	12,000,000	-
教育関連準備資金	20,000,000	-	20,000,000	_
データーベース整備資金	30,000,000	-	30,000,000	_
学術集会準備資金	23,000,000	-	23,000,000	ı
小 計	325,622,641	5,700,000	237,836,631	82,086,010
合 計	361,622,641	5,700,000	273,836,631	82,086,010

			(平位:17/
科目	取得価額	滅価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	3,690,600	3,690,598	2
什器備品	6,339,888	6,009,128	330,760
ソフトウェア	7,744,000	1,941,865	5,802,135
合計	17,774,488	11,641,591	6,132,897

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

						(単位:口)
補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
国内会議開催助成金	名古屋市観光 コンベンション ビューロー	0	2,200,000	2,200,000	0	注
新型コロナウイルス感染症 対策関連経費助成金	名古屋市観光 コンベンション ビューロー	0	500,000	500,000	0	注
学会等開催助成	大幸財団	0	260,000	260,000	0	注
合計		0	2,960,000	2,960,000	0	
注\ル計市サケ中市に口めよっナ!	- ルグウラナフト リ	44 /# ± 1 mm += 1	のき井はもりも			

注) 当該事業年度内に目的たる支出が完了するため、貸借対照表上の記載はありません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

「公益法人会計基準」の運用指針(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)に定める附属明細書の記載上の留意事項に従い、財務諸表の注記3及び4に記載しているので、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

引当金の明細は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期源	期末残高	
177 E	州日次同	当 为培加俄	目的使用	その他	一
退職給付引当金	83,282,150	4,237,464			87,519,614
賞与引当金	4,088,882	4,288,181	4,088,882		4,288,181

以上

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円) 貸借対照表科目 場所·物量等 使用目的等 余額 (流動資産) 現余 手許保管 運転資金 170.230 預金 りそな銀行 本郷支店 同上 41,268,271 りそな銀行 本郷支店 同上 1.795.67 りそな銀行 本郷支店 同上 24,592,589 三井住友信託銀行 芝営業部 同上 102,049 三井住友銀行 神田支店 同上 323 838 みずほ銀行 本郷支店 同上 5 049 64 三菱UFJ銀行 本郷支店 同上 36,531,715 三菱UFJ銀行 春日町支店 同上 1,478,286 ゆうちょ銀行 同上 300,121 20.720.553 郵便振替 00130-8-93294 同上 保険料に関する前払い 法人会計の前払分 前払金 170 810 会費・分担金に関する前払い 法人会計の前払分 72.000 学術集会補助金分前払い (公益目的事業)学術集会事業の前払分 5,000,000 会費・分担金に関する前払い (公益目的事業)調査研究事業の前払分 200,000 講習会会場費に関する前払い (公益目的事業)教育・啓蒙に関する事業の前払分 2,028,960 試験会場費に関する前払い (収益事業等)認定事業の前払分 6.402.910 学術集会貸付金等 (公益目的事業)学術集会事業等の仮払分 15.507.700 仮払金 法人会計の未収分 未収入金 会費に関する未収 517.693 学術集会事業等未返金分 (公益目的事業)学術集会事業の未返金分 10,941,221 頒布資料に関する未収 (公益目的事業)出版事業の未収分 25.000 講習会等に関する未収 (公益目的事業)講習会事業の未収分 8,367,989 e-learning配信に関する未収額ほか (公益目的事業)出版事業の未収分 流動資産 合計 181 567 259 (固定資産) 基本財産 公益目的事業に必要なその他の活動の用に供する財 定期預金 三井住友信託銀行 芝営業部(定期預金) 36.000.000 産。運用益を管理費に充当 特定資産 退職給付引当預金 (法人会計)退職給付引当金に対応する積立資産 りそな銀行 本郷支店(定期預金) 49 186 010 " 三井住友銀行 神田支店(定期預金) 同上 4 900 000 ,, 三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金) 同上 28.000.000 減価償却引当預金 りそな銀行 本郷支店(定期預金) 法人の管理運営の用に供するために保有している積立資産 2,500,000 三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金) (公益目的事業)国際交流事業の基金 4.500.000 国際交流基金 システム関連基金 りそな銀行 本郷支店(定期預金) (公益目的事業)広報関連事業の基金 13,000,000 事務所整備基金 三菱UFJ銀行 春日町支店(定期預金) 法人の管理運営の用に供するために保有している積立資産 30.000.000 みずほ銀行 本郷支店(定期預金) 三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金) (公益目的事業)調査研究及び教育・啓蒙に関する事業の基金 65.500.000 学術奨励基金 22,600,000 同 F 工藤賞基金 ゆうちょ銀行(定期貯金) (公益目的事業)顕彰事業の基金 5,700,000 14.736.631 伊東賞基金 みずほ銀行 本郷支店(定期預金) (公益目的事業)顕彰事業の基金 12 000 000 りそな銀行 本郷支店(定期預金) (公益目的事業)広報関連事業の特定費用準備資金 **政**举
准
備
省
会 教育関連準備資金 三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金) (公益目的事業)教育事業の特定費用準備資金 20,000,000 データーベース整備資金 三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金) (公益目的事業)調査研究事業の特定費用準備資金 30,000,000 学術集会準備資金 三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金) (公益目的事業)学術集会事業の特定費用準備資金 23.000.000 その他固定資産 共用財産。うち47.0%は公益目的保有財産として 建物付属設備 公益目的事業に供し、20.5%は収益事業他に供し、 事務所に付随する設備 32.5%は管理運営に供している 什器備品 会議テーブル、椅子、音響システムほか 112,300 計測機器ほか (公益事業)調査研究及び教育・啓蒙に関する事業に供している 什器備品 218,460 講習会等申込システム認定試験システムほか ソフトウェア ソフトウェア 同 ト 766 884 .,__ (収益事業)認定事業に供している 5.035.25 敷金 事務所借室 お茶の水センタービル 15,176,700 同上 固定資産 合計 382,932,238 資産 合計 564,499,497 (流動負債) 未払金 未払消費税 (法人会計)法人の運営管理業務に関連した未払金 1.300.000 職員健康診断に関する未払金 同上 31,200 講習会業務委託費 (公益目的事業)教育・啓蒙事業に関する未払金 4,562,025 必修講習会会場費ほか 同 F 348 732 法人の運営管理業務に関連した前受金 前受会費 次年度以降会費受入額 1 430 316 前受金 試験・更新に関する受入額 (収益事業)認定事業の前受金 3.590.000 預り金 雇用保険に関する預り金 (法人会計)法人の運営管理業務に関連した預り金 212,386 所得税に関する預り金 (公益目的事業)学術集会事業等の預り金 51,050 会費仮受金 新規入会金・初年度会費等に関する受入額 法人の運営管理業務に関連した仮受金 2,807,500 仮受金 不明入金等 法人会計の仮受分 394.016 令和5年6月の職員賞与<u>支給の見込み額</u> 賞与引当金 各事業と法人の管理運営業務に関連した引当金 4.288.181 流動負債 合計 19,015,406 (固定負債) 令和4年度末日における法人都合による 退職給付引当金 各事業と法人の管理運営業務に関連した引当金(簡便法) 87.519.614 期末要支給額 固定負債 合計 87,519,614 106,535,020 正味財産 457.964.477

2.1 収支計算書(資金収支計算ベース) 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科目	予 算 額	決 算 額	増 減	備考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	720	720	0	
入会金収入	1,450,000	1,649,500	△ 199,500	
会費収入	163,876,000	160,948,500	2,927,500	
正会員会費	(82,550,000)	(80,775,000)	(1,775,000)	
シニア会員会費	(14,630,000)	(12,930,000)	(1,700,000)	
準会員会費	(65,000,000)	(65,537,000)	(△ 537,000)	
学生会員会費	(56,000)	(66,500)	(\triangle 10,500)	
賛助会員会費	(1,640,000)	(1,640,000)	(0)	
学術集会関係	119,123,000	137,711,000	△ 18,588,000	95回学術集会(名古屋)
参加費収入	(60,250,000)	(73,820,000)	(\triangle 13,570,000)	
共催セミナー収入ほか	(54,230,000)	(55,361,000)	(\(\Delta \) 1,131,000)	
広告収入	(2,343,000)	(3,014,000)	(\triangle 671,000)	
寄付金収入	(1,000,000)	(2,120,000)	(\(\Delta \) 1,120,000)	
補助金・助成金収入	(1,300,000)	(2,960,000)	(\(\Delta \) 1,660,000)	
雑収入	(0)	(436,000)	(Δ 436,000)	
地方会関係	49,795,000	41,302,022	8,492,978	
参加費収入 共催セミナー収入ほか	(19,200,000) (19,865,000)	(19,658,400) (16,089,951)	(\triangle 458,400) (3,775,049)	
共催セミナー収入はか 広告収入	(19,865,000)	(4,273,500)	(3,775,049)	
海 治 資料頒布収入	(331,000)	(4,273,300)	(331,000)	
寄付金収入	(3,370,000)	(1,280,000)	(2,090,000)	
補助金・助成金収入	(600,000)	(0)	(600,000)	
受取利息	(0)	(171)	(\triangle 171)	
編集委員会	1,907,000	1,949,038	△ 42,038	
学会誌別刷収入	(90,000)	(90,000)	(0)	
広告収入	(160,000)	(167,200)	(△ 7,200)	
著作権 印税収入	(1,300,000)	(1,505,428)	(△ 205,428)	著作権使用料
資料頒布収入	(357,000)	(186,410)	(170,590)	抄録集頒布代ほか
研究会関係	0	11,466	△ 11,466	
受取利息	(0)	(3)	(Δ3)	4 7 78 4 44 4 44
雑収入	(0)	(11,463)	(\(\Delta \) 11,463)	自己資金持ち出し
顕彰委員会	2,000	2,161	△ 161	
特定資産運用収入	(2,000)	(2,161)	(Δ 161)	
教育委員会	55,000	0	55,000	51177
資料頒布収入	(55,000)	(0)	(55,000)	クリアフォルダ
教育セッション関係	2,400,000	5,109,000	△ 2,709,000	△ 18 88 /# · · · · 88 /#
参加費収入	(2,400,000) 12,300,000	(5,109,000) 8,334,000	(\(\triangle 2,709,000 \) 3,966,000	会場開催・Web開催
講習会関係	· · ·			
参加費収入	(12,300,000) 19,607,500	(8,334,000) 13,018,060	(3,966,000) 6,589,440	
必修講習会	(8,735,100)			△担閏傑·W-L 閏/型
参加費収入 資料頒布収入	(8,735,100)	(4,511,100) (8,506,960)	(4,224,000) (2,365,440)	会場開催・Web開催 e-learning
専門医制度委員会	10,101,600	10,264,300	△ 162,700	o loaithing
試験・新規認定収入	(5,141,000)	(5.380.500)	(\(\Delta \) 239,500)	受験料/認定料
更新認定収入	(3,535,000)	(3,555,000)	(\(\Delta \) 20,000)	~ 3A 177 / HU AL 17T
資料頒布収入	(1,425,600)	(1,328,800)	(96,800)	専門医認定試験問題集
エ学フェロー認定審査委員会	50,000	50,000	0	
新規認定収入	(20,000)	(20,000)	(0)	
更新認定収入	(30,000)	(30,000)	(0)	
検査士制度委員会	67,150,000	65,712,300	1,437,700	
試験・新規認定収入	(46,600,000)	(45,638,000)	(962,000)	受験料/認定料
更新認定収入	(19,910,000)	(19,445,500)	(464,500)	l
著作権・印税収入	(640,000)	(628,800)	(11,200)	検査士問題集印税
国際交流委員会	90	90	0	
特定資産運用収入	(90)	(90)	(0)	
広報委員会	220	220	0	
特定資産運用収入	(220)	(220)	(0)	
受取利息収入	1,500	4,274	△ 2,774	
雑収入	10,000	10,000	0	
事業活動収入計 (A)	447,829,630	446,076,651	1,752,979	1

科目	予算額	決 算 額	増減	備考
2. 事業活動支出				-
事業費				
学術集会関係	111,623,000	129,673,633	△ 18,050,633	学術集会補助金:2,500,000円
臨時雇い賃金	(0)	(36,000)	(\(\Delta \) 36,000)	
会計顧問料 文具消耗品費	(550,000) (1,262,000)	(550,000) (4,263,050)	(0) (Δ 3,001,050)	
又共消耗 	(1,262,000)	(4,263,050)	$(\Delta 3,001,050)$ $(\Delta 10,479,704)$	
印刷費	(4,000,000)	(2,562,791)	(1,437,209)	
通信·運搬費	(300,000)	(292,065)	(7,935)	
旅費交通費	(1,500,000)	(2,620,029)	(\(\Delta \) 1,120,029)	
支払手数料	(11,000)	(2,954,531)	(\(\Delta \) 2,943,531)	
システム運営費 業務委託费	(15,500,000)	(18,752,800)	(△ 3,252,800) (△ 7,631,939)	
業務委託費 各種賞金	(22,500,000) (1,400,000)	(30,131,939)	(△ 7,631,939) (1,400,000)	
関連行事費	(12,000,000)	(5,080,724)	(6,919,276)	
諸謝金	(1,200,000)	(550,000)	(650,000)	
学術集会(本部)・委員会	752,170	601,740	150,430	
臨時雇い賃金	(100,000)	(0)	(100,000)	
文具消耗品費 会場·会議費	(0) (42,050)	(1,646)	(\(\Delta \) 1,646) (42,050)	
云荡·云藏箕 通信·運搬費	(42,050)	(55,494)	(42,050) (\triangle 32,494)	
旅費交通費	(387,120)	(518,200)	(Δ 131,080)	
システム運営費	(200,000)	(26,400)	(173,600)	
地方会関係	64,843,000	53,165,012	11,677,988	
臨時雇い賃金	(7,213,000)	(4,359,003)	(2,853,997)	
文具消耗品費 会場·会議費	(2,512,000) (21,010,000)	(1,661,127) (22,887,466)	(850,873) (△ 1,877,466)	
会场·会議費 印刷費	(21,010,000)	(22,887,466) (4,739,520)	(\(\text{\Delta} 1,877,466 \) (\(4,635,480 \)	
通信・運搬費	(2,182,000)	(2,162,546)	(19,454)	
旅費交通費	(3,089,000)	(987,570)	(2,101,430)	
支払手数料	(92,000)	(950,081)	(Δ 858,081)	
システム運営費業務系託费	(1,350,000)	(4,855,368)	(\(\Delta \) 3,505,368)	
業務委託費 各種賞金	(14,980,000) (1,000,000)	(8,861,717) (420,440)	(6,118,283) (579,560)	
合種員並 関連行事費	(1,000,000)	(420,440)	(100,000)	
諸謝金	(1,940,000)	(1,280,174)	(659,826)	
地方会(本部)・委員会	1,316,500	1,050,280	266,220	
会場・会議費	(91,000)	(38,720)	(52,280)	
通信・運搬費	(10,000)	(0)	(10,000) (\(\Lambda 129,800 \)	
支払手数料 システム運営費	(0) (1,215,500)	(129,800) (881,760)	(△ 129,800) (333,740)	
編集委員会	43,172,300	37,606,468	5,565,832	
学会誌出版費	(26,505,800)	(28,634,611)	(\(\Delta \) 2,128,811)	
発送経費	(4,672,500)	(3,862,975)	(809,525)	
校正費	(7,300,000)	(4,135,082)	(3,164,918)	
諸謝金 支払手数料	(1,000,000)	(50,116) (2,500)	(949,884) (△ 2,500)	
支払手数料 システム運営費	(0) (1,192,000)	(2,500)	(△ 2,500) (287,966)	
会場・会議費	(262,000)	(4,320)	(257,680)	
印刷費	(0)	(6,600)	(Δ 6,600)	
通信・運搬費	(0)	(6,230)	(\triangle 6,230)	
旅費交通費 研究開発促進素品会	(2,240,000)	(0)	(2,240,000)	
研究開発促進委員会 文具消耗品費	179,600 (1,500)	(0)	179,600 (1,500)	
人具用耗而質 会場·会議費	(18,100)	(0)	(18,100)	
通信・運搬費	(10,000)	(0)	(10,000)	
旅費交通費	(150,000)	(0)	(150,000)	
研究会関係	1,200,000	830,123	369,877	3研究会
臨時雇い賃金	(290,000)	(38,000)	(\(\Delta 38,000 \)	
文具消耗品費 会場·会議費	(290,000) (470,000)	(174,035) (185,128)	(115,965) (284,872)	
印刷費	(300,000)	(185,128)	(300,000)	
通信·運搬費	(130,000)	(0)	(130,000)	
旅費交通費	(0)	(375,160)	(\triangle 375,160)	
支払手数料	(10,000)	(57,800)	(Δ 47,800)	
顕彰委員会 各種賞金	4,975,700 (4,150,000)	4,855,174 (4,350,000)	120,526 (\(\Delta \) 200,000)	久
各種資金 文具消耗品費	(4,150,000)	(4,350,000) (10,036)	(△ 200,000) (1,964)	各種賞金
人具用耗品質 会場·会議費	(183,700)	(8,712)	(1,964)	
印刷費	(50,000)	(23,100)	(26,900)	
通信·運搬費	(30,000)	(11,616)	(18,384)	
旅費交通費	(550,000)	(451,710)	(98,290)	l

科目	予	算 額	決		増 減	備考
用語·診断基準委員会		1,712,000		320,420	1,391,580	
校正費	(300,000)	(0)	(300,000)	
会費·分担金	(310,000)	(310,000)	(0)	日本乳がん検診精度管理中央機構
会場・会議費	(430,000)	(9,244)	(420,756)	
通信・運搬費	(9,000)	(1,176)	(7,824)	
旅費交通費	(463,000)	(0)	(463,000)	
システム運営費	(200,000)	(0)	(200,000)	
機器及び標準化に関する委員会		1,310,400		1,063,516	246,884	機器及び安全に関する委員会より改名
会場・会議費	(130,600)	(8,592)	(122,008)	
通信•運搬費	(5,000)	(454)	(4,546)	
旅費交通費	(974,800)	(1,054,470)	(\triangle 79,670)	
システム運営費	(200,000)	(0)	(200,000)	
安全委員会	,	610,000	•	276,816	333,184	機器及び安全に関する委員会より分離
校正費	(0)	(9,776)	(\triangle 9,776)	
会費・分担金	(200,000)	(200,000)	(0)	日本医療安全調査機構
会場・会議費	ì	85,000)	(4,800)	(80,200)	口不起原文工圖直接兩
通信・運搬費	ì	4,000)	(0)	(4,000)	
旅費交通費	(321,000)	(62,240)	(258,760)	
教育委員会	(5,719,000	(11,800	5,707,200	
	,	54,600)	,	10,500	(44,100)	
会場・会議費	(. ,	(. ,	
印刷費	(5,300,000)	(0)	(5,300,000)	
通信・運搬費	(3,000)	(0)	, ,	
旅費交通費	(361,400)	(1,300)	(360,100)	
教育セッション関係		1,655,060		1,367,936	287,124	
業務委託費	(330,000)	(0)	(330,000)	
諸謝金	(635,060)	(670,492)	(△ 35,432)	講師旅費を含む
印刷費	(570,000)	(473,440)	(96,560)	教育セッションテキスト含む
通信•運搬費	(20,000)	(0)	(20,000)	
支払手数料	(0)	(224,004)	(\(\Delta \) 224,004)	
旅費交通費	(100,000)	(0)	(100,000)	
講習会関係		7,258,330		9,242,518	△ 1,984,188	講習会2回(Web)
システム運営費	(400,000)	(490,600)	(△ 90,600)	
業務委託費	(5,400,000)	(4,562,025)	(837,975)	
諸謝金	(1,002,330)	(1,329,919)	(\triangle 327,589)	講師旅費を含む
会場・会議費	(15,000)	(2,470,864)	(△ 2,455,864)	
印刷費	(300,000)	(19,360)	(280,640)	講習会テキスト含む
通信•運搬費	(75,000)	(0)	(75,000)	
旅費交通費	(66,000)	(4,253)	(61,747)	
支払手数料	(0)	(365,497)	(\(\Delta \) 365,497)	
必修講習会	,	5,979,500	•	2,440,332	3,539,168	
システム運営費	(180,000)	(352,000)	(\triangle 172,000)	ソフトウェア構築分は除く
業務委託費	ì	2,860,400)	(358,710)	(2,501,690)	7717=7177
諸謝金	ì	167,100)	(144,781)	(22,319)	講師旅費を含む
臨時雇い賃金	(0)	(28,600)	(\(\Delta 28,600 \)	UP P M Marrie
文具消耗品費	(0)	(5,997)	(\triangle 5,997)	
メ共用和印度 会場・会議費	,	1,780,000)	(806,750)	(973,250)	
印刷費 1	(150,000)	(195,360)	(\$75,250) (\$\Delta\$ 45,360)	講習会テキスト含む
可刷复 通信·運搬費	(135,000)	(26,432)	(108,568)	呼日女/イクドロり
	,	707,000)	(521,702)	(185,298)	
支払手数料	(8,537,900	(4,946,606		
専門医制度委員会	,		,		3,591,294	
システム運営費	(761,000)	(761,000)	(0)	
業務委託費	(175,000)	(165,000)	(10,000)	
諸謝金	(564,000)	(535,000)	(29,000)	
		250,000)	(255,248)	(Δ 5,248)	
臨時雇い賃金	(-				1
臨時雇い賃金 文具消耗品費	(0)	(20,995)	(△ 20,995)	
臨時雇い賃金 文具消耗品費 会場・会議費	(0)	(1,224,740)	(113,160)	
臨時雇い賃金 文具消耗品費 会場・会議費 印刷費	(0) 1,337,900) 614,900)	(1,224,740) 745,800)	(113,160) (\(\Delta \) 130,900)	
臨時雇い賃金 文具消耗品費 会場・会議費	(((0) 1,337,900) 614,900) 482,600)	(1,224,740)	(113,160) (\triangle 130,900) (\triangle 32,476)	
臨時雇い賃金 文具消耗品費 会場・会議費 印刷費	((((((((((((((((((((0) 1,337,900) 614,900)	((((1,224,740) 745,800)	(113,160) (\(\Delta \) 130,900)	
臨時雇い賃金 文具消耗品費 会場・会議費 印刷費 通信・運搬費	((((((((((((((((((((0) 1,337,900) 614,900) 482,600)	((((1,224,740) 745,800) 515,076)	(113,160) (\triangle 130,900) (\triangle 32,476)	
臨時雇い賃金 文具消耗品費 会場・会議費 印刷費 通信・運搬費 旅費交通費	((((((((((((((((((((0) 1,337,900) 614,900) 482,600) 4,352,500)	((((((((((((((((((((1,224,740) 745,800) 515,076) 714,927)	(113,160) (Δ 130,900) (Δ 32,476) (3,637,573)	
臨時雇い賃金 文具消耗品費 会場・会議費 印刷費 通信・運搬費 旅費交通費 支払手数料	((((((((((((((((((((0) 1,337,900) 614,900) 482,600) 4,352,500)	((((((((((((((((((((1,224,740) 745,800) 515,076) 714,927) 2,000)	(113,160) (\(\triangle 130,900 \) (\(\triangle 32,476 \) (3,637,573) (\(\triangle 2,000 \)	
臨時雇い賃金 文具消耗品費 会場・会議費 印刷費 通信・運搬費 旅費交通費 支払手数料 雑費 エ学フェロー認定審査委員会	((((((((((((((((((((0) 1,337,900) 614,900) 482,600) 4,352,500) 0)	((((((((((((((((((((1,224,740) 745,800) 515,076) 714,927) 2,000) 6,820)	(113,160) (\(\Delta \) 130,900) (\(\Delta \) 32,476) (\(3,637,573) (\(\Delta \) 2,000) (\(\Delta \) 6,820)	ソフトウェア構築分は除く
臨時雇い賃金 文具消耗品費 会場・会議費 印刷費 通信・運搬費 旅費交通費 支払手数料 雑費 エ学フェロー認定審査委員会 システム運営費		0) 1,337,900) 614,900) 482,600) 4,352,500) 0) 0)	((((((((((((((((((((1,224,740) 745,800) 515,076) 714,927) 2,000) 6,820)	(113,160) (\(\Delta \) 130,900) (\(\Delta \) 32,476) (\(\Delta \) 2,000) (\(\Delta \) 6,820) 643,544	ソフトウェア構築分は除く
臨時雇い賃金 文具消耗品費 会場・会議費 印刷費 通信・運搬費 旅費交通費 支払手数料 雑費 エ学フェロー認定審査委員会		0) 1,337,900) 614,900) 482,600) 4,352,500) 0) 0) 651,900 440,000)		1,224,740) 745,800) 515,076) 714,927) 2,000) 6,820) 8,356	(113,160) (\(\Delta \) 130,900) (\(\Delta \) 32,476) (\(3,637,573 \) (\(\Delta \) 2,000) (\(\Delta \) 6,820) 643,544 (440,000)	ソフトウェア構築分は除く

科目	予算額	決 算 額	増減	備考
検査士制度委員会	37,680,500	33,709,725	3,970,775	
システム運営費	(2,244,000)	(1,221,000)	(1,023,000)	ソフトウェア構築分は除く
業務委託費	(720,000)	(1,417,482)	(△ 697,482)	
諸謝金	(2,685,000)	(2,484,500)	(200,500)	
臨時雇い賃金	(2,764,000)	(1,592,998)	(1,171,002)	
文具消耗品費	(140,000)	(176,521)	(△ 36,521)	
会場·会議費	(20,045,800)	(18,665,619)	(1,380,181)	
印刷費	(2,910,000)	(2,761,462)	(148,538)	
通信・運搬費	(2,928,000)	(2,853,647)	(74,353)	
旅費交通費	(1,552,000)	(943,679)	(608,321)	
支払手数料	(1,651,700)	(1,524,837)	(126,863)	
雑費 国際交流委員会	(40,000) 6,585,500	(67,980) 3,284,375	(△ 27,980) 3.301.125	
	(3,600,000)	(0)	(3,600,000)	
会費·分担金	(2,584,000)	(3,179,915)	(\(\Delta \) 595,915)	AFSUMB分担金
諸謝金	(180,000)	(0,173,313)	(180,000)	AT 30MB万重並
会場・会議費	(11,500)	(12,000)	(\triangle 500)	
通信・運搬費	(10,000)	(0)	(10,000)	
旅費交通費	(200,000)	(92,460)	(107,540)	
広報委員会	3,000,000	1,723,964	1,276,036	
システム運営費	(3,000,000)	(1,717,964)	(1,282,036)	
会場・会議費	(0)	(6,000)	(\triangle 6,000)	
企画委員会	943,000	15,040	927,960	
会場・会議費	(67,000)	(0)	(67,000)	
通信・運搬費	(6,000)	(0)	(6,000)	
旅費交通費	(870,000)	(15,040)	(854,960)	
キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会	288,370	105,226	183,144	
諸謝金	(111,370)	(101,926)	(9,444)	
会場・会議費	(98,000)	(0)	(98,000)	
通信•運搬費	(9,000)	(0)	(9,000)	
旅費交通費	(70,000)	(0)	(70,000)	
システム運営費	(0)	(3,300)	(\triangle 3,300)	
災害対策委員会	32,900	0	32,900	
会場・会議費	(29,900)	(0)	(29,900)	
通信・運搬費	(3,000)	(0)	(3,000)	
超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会	5,698,250	10,846,165	△ 5,147,915	
システム運営費 文具消耗品費	(4,958,250) (50,000)	(5,071,165) (0)	(\(\triangle 112,915 \) (50,000)	
大兵府杙四貝 会議·会場費	(50,000) (60,000)	(0)	(50,000) (60,000)	
	(00,000)	(5,775,000)	(\(\Delta 5,775,000 \)	
諸謝金	(630.000)	(0,770,000)	(630,000)	
事業費計	315,724,880	297,145,225	18,579,655	
管理費				
給与手当	49,922,000	51,411,519	△ 1,489,519	
会計顧問料	880,000	880,000	0	
福利厚生費	486,000	421,572	64,428	
法定福利費	8,700,000	8,391,309	308,691	
職員交通費	1,390,200 20.065,700	1,463,320	△ 73,120	
事務所賃借料 事務用機器賃借料	918,100	20,065,644 920,616	56 △ 2,516	
争伤用 恢 奋具旧科 備品費	200,000	0	200.000	
	380,000	281,476	98,524	
光熱水料	1,300,000	1,331,066	△ 31,066	
事務OA化費	2,000,000	1,473,648	526.352	
会場・会議費	500,000	328,414	171,586	
印刷費	1,500,000	949,522	550,478	
通信・運搬費	3,400,000	3,411,037	△ 11,037	
旅費交通費	1,300,000	753,581	546,419	
各種保険料	240,000	240,450	△ 450	
租税公課	7,200,000	6,318,500	881,500	消費税
支払手数料	2,200,000	2,017,978	182,022	
システム運営費	200,000	245,212	△ 45,212	
会費·分担金	465,500	445,200	20,300	日本医学会連合・公益法人協会ほか
業務委託費	396,000	396,000	0	
雑費	400,000	367,620	32,380	
保険委員会	915,850	600,000	315,850	- 10 set 11 10 set
会費・分担金	(600,000)	(600,000)		内保連、外保連
会場・会議費	(34,850)	(0)	(34,850)	
通信・運搬費	(5,000)	(0)	(5,000)	
旅費交通費	(276,000) 32,900	(0)	(276,000) 32,900	
倫理委員会 会場・会議費				
会場・会議費 通信・運搬費	(29,900) (3,000)	(0)	(29,900) (3,000)	
四 12 12 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	(3,000)	()	(3,000)	1

科目		予 算 額	決 算 額	増 減	備考
利益相反委員会		191,000	0	191,000	
会場・会議費		(10,000)	(0)	(10,000)	
旅費交通費		(181,000)	(0)	(181,000)	
規約関係		5.000	0	5.000	
通信・運搬費		(5,000)	(0)	(5,000)	
選举関係		316,500	24,370	292,130	
		·	·		
会場・会議費		(23,000)	(4,470)	(18,530)	
旅費交通費		(117,500)	(19,900)	(97,600)	
業務委託費		(176,000)	(0)	(176,000)	
管理費計		105,504,750	102,738,054	2,766,696	
事業活動支出計	(B)	421,229,630	399,883,279	21,346,351	
事業活動収支差額	(C)=(A)-(B)	26.600.000	46,193,372	△ 19,593,372	
争未沾到収又左領	(G)-(A)-(B)	20,000,000	40,193,372	Z 19,090,072	
Ⅱ 投資活動収支の部 1.投資活動収入 特定預金取崩収入 伊東賞基金取崩収入		900,000 (600,000)	900,000 (600,000)	0 (0)	
		(300,000)	(300,000)	,	火化ウェサルキ
工藤賞基金取崩収入	(5)	, ,		0	※指定正味財産
投資活動収入計	(D)	900,000	900,000	U	
2. 投資活動支出 特定預金繰入支出 退職給付引当預金支出 学術奨励基金組入支出 システム関連基金組入支 超音波医学學等備資金 教育関連「一タペース整備資金組入 データペース整備資金組入 学術集会準備資金組入 ソフトウェア購入支出 投資活動支出計 投資活動収支差額	組入支出 出 入支出	15,500,000 (12,000,000) (1,500,000) (2,000,000) () () () () () () 2,500,000 27,500,000	100,500,000 (12,000,000) (1,500,000) (2,000,000) (22,000,000) (20,000,000) (30,000,000) (23,000,000) 0 100,500,000 Δ 99,600,000	(\(\Delta \) 20,000,000) (\(\Delta \) 30,000,000)	※特定費用準備資金 ※特定費用準備資金 ※特定費用準備資金 ※特定費用準備資金
Ⅲ 財務活動収支の部 1.財務活動収入				0	
財務活動収入計	(G)	0	0	0	
2. 財務活動支出				0	
財務活動支出計	(H)	0	0	0	
財務活動収支差額	(J) =(G)-(H)	0	0	0	
IV 予備費支出			-	0	
当期収支差額	(K) =(C)+(F)+(J)	0	△ 53,406,628	53,406,628	
前期繰越収支差額	(L)	0	220,246,662	△ 220,246,662	
次期繰越収支差額	(K)+(L)	0	166,840,034	Δ 166,840,034	
クタ 体 色 水 人 左 領	/11/· (L/	•	. 55,5 .0,65 1		

収支計算書(資金収支計算ベース)に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払金、仮払金、未払金、前受会費、前受金、預り金、 会費仮受金及び仮受金を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

	前期末残高	当期末残高
現金預金	211,405,532	132,332,976
未収入金	3,531,563	19,851,903
前払金	14,851,110	13,874,680
仮払金	5,000,000	15,507,700
合計(A)	234,788,205	181,567,259
未払金	5,167,333	6,241,957
前受会費	1,299,770	1,430,316
前受金	4,742,000	3,590,000
預り金	157,954	263,436
会費仮受金	2,818,500	2,807,500
仮受金	355,986	394,016
合計(B)	14,541,543	14,727,225
次期繰越収支差額(A-B)	220,246,662	166,840,034

監查報告書

公益社団法人日本超音波医学会理 事 長 飯島 尋子 殿

令和5年4月26日



監事打印光祭

私は、令和4年4月 | 日から令和5年3月3 | 日までの令和4年会計年度における会計 および業務監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1)会計監査 帳簿および関係書類並びに計算書類の正確性を検討した。
- (2)業務監査 理事会およびその他の会議に出席し、理事からの業務報告および 関係書類により業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法人の 収支状況および財政状態を正しく示していると認める。
- (2)事業報告書の内容は事実であると認める。

理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

00

監査報告書

2023年4月24日

公益社団法人日本超音波医学会 理事長 飯島 尋子 殿

馬目公認会計士事務所

公認会計士 、馬 日 手 昭

1. 監査の方法と概要

私は、公益社団法人日本超音波医学会の2022年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表(以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。)について監査を行いました。

監査に当たって、私は、試査を基礎とし、通帳、請求書、領収書等の関係証憑と会計 帳簿間の照合、及び財務諸表等が適正に作成されているか検討を行いました。

2. 監查意見

監査の結果、私は、上記の財務諸表等が、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、公益社団法人日本超音波医学会の 2022 年度末日現在の財政状態及び同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

3. 利害関係

公益社団法人日本超音波医学会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はありません。

以上

公益社団法人日本超音波医学会 令和 5 年度事業計画書 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

令和5年度における本会の事業計画は次のとおりである。

```
[公益目的事業 学会誌等出版事業]
    和文誌「超音波医学」(7冊):第50巻 Supplement号、3~6号、及び第51巻 1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊):第50巻 2~4号、及び第51巻 1号の計11冊を発行する。
    学術集会
学術集会を下記のとおり年1回開催し、講演抄録は本会電子ジャーナルにて公開する。
第96回学術集会 会長 菊池昭彦
令和5年5月27日(土)~29日(月) 於:ソニックシティ・パレスホテル大宮(埼玉県さいたま市)
                第97回学術集会 会長 岩永史郎
令和6年5月31日(金)~6月2日(日) 於:パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)
第98回学術集会 会長 北野雅之
                  令和7年5月29日(木)~6月1日(日) 於:国立京都国際会館(京都府京都市)
 [公益目的事業
                 学術集会・講習会等事業]
[公益日的学来 アポイー 地方会学術集会 下記の予定で地方会を開催する。
a. 北海道地方会学術集会 体に同 全長 松居剛記
                第53回 会長 松居剛志
                  令和5年9月9日(土) 於:北海道大学学術交流会館(北海道札幌市)
           b. 東北地方会学術集会
           D. 東北地方云字柳集云
第66回 会長 黒田英克
令和5年9月24日(日)
第67回 会長 大原員裕
令和6年3月3日(日)
C. 関東甲信越地方会学術集会
第35回 会長 B14日(十)
                                           於:盛岡市民文化ホール(岩手県盛岡市)
                                           於:未定(宮城県仙台市)
                   ~ 10月14日(土)~15日(日) 於:シェーンバッハ・サボー・JR共済ビルカンファレンスホール
                                                                                                                (東京都千代田区)
           d. 中部地方会学術集会
                第44回 会長 林 秀樹
令和5年9月10日(日) 於:じゅうろくプラザ(岐阜県岐阜市)
           e. 関西地方会学術集会
第50回 会長 濱
                                濱口浩敏
           第50回 会長 濱口浩敏
令和5年10月21日(土) 於:神戸国際会議場(兵庫県神戸市)
f.中国地方会学術集会
第59回 会長 杉原誉明
- 令和5年9月2日(土) 於:米子コンベンションセンターBIGSHIP(鳥取県米子市)
           g. 四国地方会学術集会
第33回 会長 田中宏和
令和5年10月14日(土) 於:香川県県民ホール(香川県高松市)
           h. 九州地方会学術集会
第33回 会長 田代英樹
令和5年10月8日(日) 於:久留米シティプラザ(福岡県久留米市)
   教育セッション・超音波診断講習会・小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)・必修講習会
           a. 教育セッション
                第22回教育セッション 令和5年5月27日(土)~28日(日) 於:ソニックシティ・パレスホテル大宮(埼玉県さい
                                         たま市)
           b. 超音波診断講習会
超音波診断講習会(循環器)
超音波診断講習会(消化器)
超音波診断講習会(小児)
                                             令和5年11月25日(土) 於:沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)
令和5年12月16日(土) 於:JPタワーホール&カンファレンス(東京都千代田区)
令和6年1月27日(土) 於:JPタワーホール&カンファレンス(東京都千代田区)
令和6年2月18日(日) 於:JPタワーホール&カンファレンス(東京都千代田区)
                超音波診断講習会(乳腺)
           に、小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)
新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めて計画を立てる。
d. 必修講習会
第96回学術集会 令和5年5月27日(土)~29日(月) 於:パレス
                                 令和5年5月27日(土) ~29日(月) 於:パレスホテル大宮(埼玉県大宮市)令和5年9月9日(土) 於:北海道大学学術交流会館(北海道札幌市)令和6年3月3日(日) 於:仙台市中小企業活性化センター(宮城県仙台市)令和5年10月14日(土)~15日(日) 於:JA共済ビル(東京都千代田区)令和5年9月10日(日) 於:岐阜県じゅうろくプラザ(岐阜県岐阜市)令和5年10月21日(土) 於:神戸国際会議場(兵庫県神戸市)令和5年9月2日(土) 於:米子コンベンションセンターBIGSHOP(鳥取県米子市)令和5年10月14日(土) 於:香川県県民ホール(香川県高松市)令和5年10月8日(日) 於:久留米シティプラザ(福岡県久留米市)
                北海道地区
                関東甲信越地区
                中部地区
                関西地区
                中国地区
```

四国地区 九州地区

- ✓ 各種委員会等

 [会員相互補助事業]
 1 企画委員会
 a. 役員選出に関する規約が整備されていないことからワーキンググループにて役員選出に関わる規約制定に向けた検討を行う。
 b. 新規正会員を増やす方策について検討を行う。
 c. その他、理事長より諮問される案件については慎重に審議し、早急に答申するとともに、超音波医学について将来的視野で検討し、委員会独自の提言を行う。

- [公益目的事業 調査研究事業] 2 機器及び標準化に関する委員会

 - はない保守にに関する安貞会 a.「経腟探触子の消毒法に関する小委員会」において、経腟探触子の消毒法に関する検討を行う。 b.「SME(shear wave elastography)の標準化小委員会」において、SMEの標準化に関する検討を行う。 c. 超音波診断機器の規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議(IEC)に委員1名を派遣する。 d. 安全委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向け のコンテンツを策定する。 e. 新しい機器に関する啓発活動を行う。 f. 会員からの機器に関する問い合わせに対応する。

[公益目的事業 調査研究事業] 3 安全委員会

- - 「主要員本 a.「超音波の安全性」についての調査、啓発活動を行う。 b. 「音響放射力の生体への影響検討小委員会」において、音響放射カインパルスの生体への影響について検討を行う。 c. 機器及び標準化に関する委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育 用及び一般市民向けのコンテンツを策定する。

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

- | 18 | 宇天誌寺口版争未」 編集委員会 a. 和文誌「超音波医学」(7冊):第50巻 Supplement号、3~6号及び第51巻1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊):第50巻2~4号及び第51巻1号の計11冊を発行する。 b.メールマガジンを配信する。 c.総説及び特集などの執筆を依頼する。 d. Impact Factor値の上昇について方策を検討する。

[公益目的事業 調査研究事業] 5 用語・診断基準委員会 a. 医用超音波用語関係

- - - 2)加度自然介語場が、 1)医用超音波用語集改訂を随時行い、ホームページに反映する。 2)他学会との交流、及び連携を図り、用語の整合性について検討を行う。
 - b. 診断基準関係

 - 診断基準関係
 1)「腫瘤像事形成性乳腺疾患ガイドライン」公示に向けて検討を行う。
 2)「結節甲状腺腫診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 3)「消化管診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 4)「胆嚢癌超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 5)「乳房造影超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 6)「超音波による四肢動脈病変の標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 7)「超音波検査のパニック所見・緊急に対応すべき異常所見」公示に向けて検討を行う。
 8)「超音波による頸動脈の標準的評価法(追補版)」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 9)「超音波によるバスキュラーアクセスの標準的法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 10)「胎児発育不全の診断ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。

[法人事業/法人管理関係]

- 6 保険委員会

 - 映 安貝索 a. 次回寮報酬改定に向け要望項目について、会員にアンケート調査を行い、次回診療報酬改定に向けての準備を行う。 b. 引き続き、内保連・外保連に委員を派遣し、関連他学会との情報交換を行う。 c. 例年のように超音波専門医研修施設宛に各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の実態把握 のためのアンケート調査を行う。

[公益目的事業 国際交流事業]

- 国際交流委員会
 - a. 日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
 - a. 日本超首波医子芸奨字制度(JSUM Fellowship)関係
 「公益社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行う。
 1)2020・2021・2023年度JSUM Fellowship研修を上の研修を実施する(2022年度は応募なし)
 2)2024度JSUM Fellowship研修生を公募し、選考する。
 3)今後の国際貢献の在り方について検討する。
 b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
 1)AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 2)令和5年11月4日~7日にオマーン・マスカット市において開催される第19回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 - 6)本会の国際化を一層推進するため、新たな交流事業について検討する。 c. 超音波医学に関して国際的に活躍されている方で本会名誉会員にふさわしい方を検討し、理事会へ推薦する。

- [公益目的事業 学術集会・講習会等事業]
 8 教育委員会
 a. 第96回学術集会会期中にソニックシティ・パレスホテル大宮を会場として、第22回教育セッションを開催する。
 b. 第97回学術集会会期中に開催予定の「第23回教育セッション」を企画し、開催に向けての準備を行う。
 c. 令和5年度に超音波診断講習会(循環器・消化器・小児・乳腺)4領域を開催する。
 d. 令和6年度に開催する超音波診断講習会を企画し、開催に向けての準備を行う。
 e. 令和5年度中に小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)、新型コロナウイルス感染状況を見極めて計画を立てる。
 f. 令和5年度中に「必修講習会」を学術集会及び地方会学術集会会場で実施する。
 g. 機器及び標準化に関するを含みなび教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育
 田及び一般市民向けのコンテンツを策定する 用及び一般市民向けのコンテンツを策定する。

[収益事業 資格認定事業]

- F来 見作総た事来」 超音波専門医制度委員会 a.第33回超音波専門医認定試験を実施する。 b.第34回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織する。
 - c. 令和5年度超音波指導医の新規自薦申請者を公募する。

- d. 第29回超音波専門医資格更新審査を実施する。
 e. 第30回超音波専門医更新に関する会告を公示する。
 f. 令和5年度指定の研修施設に令和5年4月1日付けで指定証を交付する。
 g. 令和6年度研修施設・研修施設群(基幹施設、連携施設)の指定に向けての審査を行う。
 h. 超音波専門医認定試験問題集第7版を発行する。
 i. 超音波専門医制度に関する啓発を、会員に積極的に行う。
 j. 超音波専門医制度に関する他学会との連携を深める。
 k. 一般社団法人日本専門医機構の事業に主体的に関わって、専門医制度の資質向上に資する。

- [公益目的事業 表彰事業] 10 顕彰委員会 a.第25回特別学会賞の選考を行う。 b.第2回工藤賞の選考を行う。 c.第23回技術賞の選考を行う。 d.第37回菊池賞(論文賞)の選考を行う。 e.第18回伊東賞(論文賞)の選考を行う。 f.第24回奨励賞の選考を行う。 g.第12回新人賞(地方会)の選考を行う。

- 事業 資格認定事業] 超音波検査士制度委員会
 - a 第38回超音波検査士認定試験を実施する。

 - a.第38回超音波検査工認定試験を実施する。 b.第34回超音波検査工資格更新を実施する。 c.第11回超音波検導検査工(腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域)認定試験を実施する。 d.第7回超音波指導検査工(腹部領域)資格更新を実施する。 e.超音波検査工の更なる育成を図り、非会員の検査工との連絡方法などの利便性を検討する。 f.「超音波指導検査工(腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域)認定試験のための講習会」を実施する。

[収益事業

- - d. 超音波工学フェロー制度の活性化の議論を行い、必要な方策を実施する。

[公益目的事業 研究開発促進事業] 13 研究開発促進委員会

- - る。令和5年度研究会の設置申請についての審査を行い、研究会の設置を認可する。 b.令和6年度研究会の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。

[法人事業/法人管理関係] 14 倫理委員会 倫理に関する事項について検討を行う。

- [公益目的事業 学術集会・講習会等事業] 15 学術集会委員会 a. 学術集会の在り方を考えて、その運営が円滑に行われるように助言する。

[公益目的事業 学会誌等出版事業] 16 広報委員会

- - トサルメーター☆ a.本学会情報をウェブサイト、SNS及びメールマガジンにより広報を行う。 b.ワーキンググループを設置しウェブサイトのリニューアル及びSNSでの広報について検討を行う。

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業] 17 地方会委員会

- - 也方会委員会
 a. 地方会に関する事業の発展、充実、及び円滑な運営の促進
 1)各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導、及び助言を行う。
 2)地方交付金の算定を行い、交付する。
 3)地方会学術集会に関して助言を行う。
 4)地方会講習会に関して助言を行う。
 5)学術集会委員会と共同して正会員増加に関する検討を行う。
 b. 地方会委員会会議、及び地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行う。
 c. 地方会を通じて正会員数増加の推進を行う。
 d. 各地方会学術集会演題受付ウェブシステムを利用し、抄録のウェブ掲載を行う。

- [法人事業/法人管理関係]18 利益相反委員会a. 学会員の利益相反に関するマネージメントを行う。b. 利益相反に関する指針について必要に応じて改訂の検討を行う。

[会員相互補助事業]

- 3月 (中のサネ) 災害対策委員会 a. 災害発生に備え、被災地から超音波診断装置等借用要請があった場合に、各超音波機器メーカーや現地医療機関・ 医療関係者、各都道府県の超音波医学会地方会事務局窓口(防災担当)と連携を図る。 b. 災害が発生した場合には、被災地域医療活動支援のための、装置の手配・搬送・回収など一連の貸与関連業務に当

- [会員相互補助事業]
 20 キャリア支援・ダイバーシティ推進委員会
 a. 第96回学術集会会期中にキャリア支援・ダイバーシティ参画シンポジウムを開催する。
 b. 働き方改革やタスクシェアに関する議論を進める。
 c. 女性超音波工学フェローとの懇談会を開催し、超音波医学会を発展させるために、工学系女性会員を増やすため、意見交換を行う。
 - d. 令和5年度日本医師会女性医師支援担当者連絡会に参加する。

[公益目的事業 調査研究事業] 21 超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会 臨床研究等のICT基盤構築に関する調査研究事業として、次世代に向けた超音波画像データベースを収集し超音波の人 工知能診断開発研究に取り組む。

- [法人事業/法人管理関係]
 22 会員資格審査関係
 会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記の認定の審査を行う。
 a.入会希望者、及び退会希望者の審査
 b.会員資格喪失該当者の審査
 c.会員種別変更希望者の審査
 d.休会希望者の審査
 e.災害被災者の会費免除の審査

[法人事業/法人管理関係] 23 規約関係 理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、及び改正について逐次審議し、作案する。

[法人事業/法人管理関係]24 個人情報保護関係本会が保有する個人情報提を適切に管理する。

- [会員相互補助事業] VI 日本医学会関係 1 日本医学会定時総会に出席する。 2 第31回日本医学会総会に協力する。 3 令和5年度日本医学会分科会用語委員会に出席する。 4 日本医学会研究倫理教育研修会に出席する。

(単位:円)

<u></u>	_			(単位:円)
科目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
			_ ""	
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	720	720	0	
入会金収入	1,450,000	1,450,000	0	
会費収入	166,296,000	163,876,000	2,420,000	
正会員会費	(82,550,000)	(82,550,000)	(0)	@13,000円×6,350人
シニア会員会費	(13,750,000)	(14,630,000)		@11,000円×1,250人
準会員会費	(68,300,000)	(65,000,000)	(3,300,000)	@10,000 × 1,300 • @7,000 × 7,900
学生会員会費	(56,000)	(56,000)	(0)	@3,500円×16人
替助会員会費	(1,640,000)	(1,640,000)	(0)	@40,000円×41口(11社)
学術集会関係	115,761,000	119,123,000	△ 3,362,000	
参加費収入	(51,800,000)	(60,250,000)	(△ 8,450,000)	
共催セミナー収入ほか	(61,525,000)	(54,230,000)	(7,295,000)	
広告収入	(1,936,000)	(2,343,000)	(△ 407,000)	
寄付金収入	(500,000)	(1,000,000)	(△ 500,000)	
補助金・助成金収入	(0)	(1,300,000)	(△ 1,300,000)	
地方会·地方会学術集会関係	48,472,000	49,795,000	△ 1,323,000	
参加費収入	(17,970,000)	(19,200,000)	(\triangle 1,230,000)	
共催セミナー収入ほか	(21,186,000)	(19,865,000)	(1,321,000)	
広告収入	(6,806,000)	(6,429,000)	(377,000)	
資料頒布収入	(100,000)	(331,000)	(Δ 231,000)	
寄付金収入	(1,910,000)	(3,370,000)	(\triangle 1,460,000)	1
補助金・助成金収入	(500,000)	(600,000)	(Δ 100,000)	
編集委員会	1,907,000	1,907,000	0	
学会誌別刷収入	(90,000)	(90,000)	(0)	和文誌6回
広告収入	(160,000)	(160,000)	(0)	
著作権 • 印税収入	(1,300,000)	(1,300,000)	(0)	著作権使用料
資料頒布収入	(357,000)	(357,000)	(0)	オンデマンド印刷等頒布ほか
顕彰委員会	2,100	2,000	100	
特定資産運用収入	(2,100)	(2.000)	(100)	
教育委員会	15,000	55.000	△ 40,000	
資料頒布収入	(15,000)	(55,000)	· ·	クリアフォルダ
教育セッション関係	3,900,000	2,400,000	1,500,000	777 73 70 7
参加費収入	(3,900,000)	(2,400,000)	(1,500,000)	
講習会関係	14,020,000	12,300,000	1,720,000	
参加費収入	(14,020,000)	(12,300,000)		4回開催
必修講習会関係	14,306,820	19,607,500	△ 5,300,680	
参加費収入	(7,949,700)	(8,735,100)	(△ 785,400)	
資料頒布収入	(6,357,120)	(10,872,400)	(△ 4,515,280)	e-learning
専門医制度委員会	9,872,500	10,101,600	△ 229,100	
試験・新規認定収入	(5,007,500)	(5,141,000)	(△ 133,500)	試験受験料 · 認定料
更新認定収入	(3,765,000)	(3,535,000)	(230,000)	
資料頒布収入	(1,100,000)	(1,425,600)	(△ 325,600)	専門医認定試験問題集
エ学フェロー認定審査委員会	47,500	50,000	△ 2,500	
新規認定収入	(20,000)	(20.000)	(0)	
更新認定収入	(27,500)	(30,000)	(△ 2,500)	
検査士制度委員会	69,100,600	67,150,000	1,950,600	
試験・新規認定収入	(46,650,000)	(46.600.000)	(50,000)	試験受験料・認定料
更新認定収入	(21,825,000)	(19,910,000)	(1,915,000)	L(指導検査士含む
著作権・印税収入	(625,600)	(640,000)		検査士認定試験問題集印税
国際交流委員会	90	90	0	基金預金利息
				基並頂並 利总
特定資産運用収入	(90)	(90)	(0)	# 4 55 4 51 5
広報委員会 株式液本/周界/1-1	260	220	40	基金預金利息
特定資産運用収入	(260)	(220)	(40)	L
受取利息	2,000	1,500	500	基金分は除く
雑収入	2,000	10,000	△ 8,000	在外会員手数料
事業活動収入計 (A)	445,155,590	447,829,630	△ 2,674,040	
	, ,,,,,,		, , , , , , , ,	
2 東東江動士山				
2. 事業活動支出				
事業費				
学術集会関係	117,675,287	111,623,000	6,052,287	学術集会補助金
臨時雇い賃金	(615,000)	(0)	(615,000)	2,000,000円
会計顧問料	(0)	(550,000)	(\triangle 550,000)	学術集会補助金(託児所分)
文具消耗品費	(0)	(1,262,000)		500.000円
	1 '			300,0001]
会場・会議費	(72,122,977)	(51,400,000)	(20,722,977)	
印刷費	(10,429,352)	(4,000,000)	(6,429,352)	
通信•運搬費	(0)	(300,000)	(Δ 300,000)	
旅費交通費	(6,200,000)	(1,500,000)	(4,700,000)	
支払手数料	(0)	(11,000)	(\(\Delta \) 11,000)	1
システム運営費	(1,379,400)	(15,500,000)	(\(\Delta \) 14,120,600)	
業務委託費	(21,191,558)	(22,500,000)	(\(\Delta \) 1,308,442)	
and the second s				
顕彰関係費	(0)	(1,400,000)	(\(\Delta \) 1,400,000)	
関連行事費	(5,737,000)	(12,000,000)	(△ 6,263,000)	
諸謝金	(0)	(1,200,000)	(\triangle 1,200,000)	
学術集会(本部)・委員会	783,000	752,170	30,830	
	•	1	•	•

 科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
 臨時雇い賃金	(80,000		(\triangle 20,000)	MO G
会場・会議費	(40,000		(\(\triangle 2,050 \)	
通信•運搬費	(23,000	.	(22,000)	
旅費交通費	(440,000		(52,880)	
システム運営費	(200,000		(0)	
地方会・地方会学術集会関係	63,946,000	64,843,000	△ 897,000	
臨時雇い賃金	(8,310,000) (7,213,000)	(1,097,000)	
文具消耗品費	(2,486,000) (2,512,000)	(\triangle 26,000)	
会場・会議費	(17,255,000) (21,010,000)	(\triangle 3,755,000)	
印刷費	(9,503,000) (9,375,000)	(128,000)	
通信·運搬費	(2,023,000) (2,182,000)	(\(\Delta \) 159,000)	
旅費交通費	(1,794,000) (3,089,000)	(Δ 1,295,000)	
支払手数料	(206,000		(114,000)	
システム運営費	(1,876,000		(526,000)	
業務委託費	(18,133,000		(3,153,000)	
顕彰関係費	(940,000		(\(\Delta \) 60,000)	
関連行事費 	(110,000		(10,000)	
諸謝金	(1,310,000 750,000		(△ 630,000) △ 566,500	
地方会(本部)・委員会	· ·	1,316,500		
会場·会議費 通信·運搬費	(80,000		(Δ 11,000) (Δ 10,000)	
週	(670,000		(\(\Delta \) 545,500)	
ンスアム連呂貨 編集委員会	54,227,000	43,172,300	11.054.700	
学会誌出版費	(36.500.000		(9,994,200)	OpenAccess費用を含む
発送経費	(4,685,000		(12,500)	,
校正費	(10,860,000		(3,560,000)	
諸謝金	(500,000		(\(\Delta \) 500,000)	
システム運営費	(1,082,000		(\(\Delta \) 110,000)	
会場·会議費	(190,000		(\triangle 72,000)	
旅費交通費	(410,000) (2,240,000)	(Δ 1,830,000)	
研究開発促進委員会	187,420	179,600	7,820	研究開発促進委員会
文具消耗品費	(1,500) (1,500)	(0)	
会場・会議費	(25,920) (18,100)	(7,820)	
通信・運搬費	(10,000		(0)	
旅費交通費	(150,000		(0)	
研究会関係	1,050,000	1,200,000	△ 150,000	研究会設置費(3研究会)
文具消耗品費	(210,000		(Δ 80,000)	
会場・会議費	(560,000		(90,000)	
印刷費	(230,000		(\triangle 70,000)	
通信·運搬費 支払手数料	(40,000 (10,000		(
文仏士蚁科 顕彰委員会	6.377.000	4,975,700	1,401,300	
蝦彩安貝云 顕彰関係費	(5,500,000		(1,350,000)	
文具・消耗品費	(12,000		(0)	
会場・会議費	(200,000		(16,300)	
印刷費	(35,000		(Δ 15,000)	
通信·運搬費	(30,000) (30,000)	(0)	
旅費交通費	(600,000) (550,000)	(50,000)	
用語·診断基準委員会	1,419,000	1,712,000	△ 293,000	
校正費	(300,000		(0)	
会費·分担金	(310,000		(0)	日本乳がん検診精度管理中央機構
会場・会議費	(400,000		(\(\Delta \) 30,000)	
通信・運搬費	(9,000		(0)	
旅費交通費 システム運営費	(200,000 (200,000	.	(\(\Delta \) 263,000) (0)	医用超音波用語検索システム
システム連呂貨 機器及び標準化に関する委員会	11.376.000	1,310,400	10.065.600	
機能及び候準化に関する安貞云 会場・会議費	(170,000		(39,400)	
印刷費	(10,000,000		(10,000,000)	※特定費用準備資金
通信・運搬費	(6,000		(1,000)	
旅費交通費	(1,000,000		(25,200)	
システム運営費	(200,000		(0)	
安全委員会	624,000	610,000	14,000	
会費·分担金	(200,000) (200,000)	(0)	日本医療安全調査機構
会場・会議費	(70,000) (85,000)	(Δ 15,000)	
通信·運搬費	(4,000	.	(0)	
旅費交通費	(350,000	.	(29,000)	
教育委員会	793,000	5,719,000	△ 4,926,000	教育委員会
会場·会議費	(90,000	.	(35,400)	
印刷費	(0		(\(\Delta 5,300,000 \)	
通信·運搬費 按弗森洛弗	(3,000	.	(0)	
旅費交通費	(700,000		(338,600)	
教育セッション関係 業 森 禾 紅 弗	1,480,000	1,655,060	Δ 175,060	
業務委託費 諸謝金	(330,000	.	(0) (\triangle 75,060)	講師旅費を含む
印刷費	(500,000			教育セッションテキスト含む
通信·運搬費	(20,000		(0)	
~ IR ~ IN X	1 , 25,500	25,555 /		1

科目	 予 算 額	前年度予算額	増減	備考
旅費交通費	(70.000)	(100,000)	(\(\Delta \) 30.000)	川
講習会関係	13,565,840	7,258,330	6,307,510	4回開催
システム運営費	(1,232,000)	(400,000)	(832,000)	
業務委託費	(2,000,000)	(5,400,000)	(\(\triangle 3,400,000 \)	
諸謝金	(3,796,440)	(1,002,330)	(2,794,110)	講師旅費を含む
会場・会議費	(5.486.400)	(15,000)	(5,471,400)	man M & C L C
印刷費	(600,000)	(300,000)	(300,000)	講習会テキスト含む
通信・運搬費	(100,000)	(75,000)	(25,000)	
旅費交通費	(351.000)	(66,000)	(285,000)	
必修講習会	6,627,000	5,979,500	647,500	
頒布資料印刷費	(180,000)	(0)	(180.000)	
システム運営費	(716,000)	(180,000)	(536,000)	
業務委託費	(3,011,000)	(2,860,400)	(150,600)	
諸謝金	(0,011,000)	(167,100)	(\triangle 167,100)	講師旅費を含む
会場・会議費	(1,780,000)	(1,780,000)	(2 107,100)	時間が見る自む
印刷費	(290,000)	(150,000)	(140,000)	テキスト含む
通信・運搬費	(135,000)	(135,000)	(0)	/ \ \ \
支払手数料	(515,000)	(707,000)	(\triangle 192,000)	
文	11,826,800	8,537,900	3,288,900	
	(5,484,800)			専門医認定試験問題集、編集人件費を
頒布資料印刷費		(0)	(5,484,800)	専門医認定試験问題業、編集入件資を
システム運営費	(462,000)	(761,000)	(\(\triangle 299,000 \)	ᆂᇜᆮᇷᅌᆉᄡᅓᅩ
業務委託費	(175,000)	(175,000)	(0)	専門医認定試験採点
諸謝金	(575,000)	(564,000)	(11,000)	
臨時雇い賃金	(680,000)	(250,000)	(430,000)	
会場・会議費	(1,300,000)	(1,337,900)	(\(\triangle 37,900 \)	=4 EA BB BE /L -4 /- /
印刷費	(170,000)	(614,900)	(Δ 444,900)	試験問題作成ほか
通信・運搬費	(580,000)	(482,600)	(97,400)	
旅費交通費	(2,400,000)	(4,352,500)	(<u>\(\(\(\) \) \) (1,952,500)</u>	
エ学フェロー認定審査委員会	141,800	651,900	△ 510,100	
システム運営費	(0)	(440,000)	(Δ 440,000)	
会場·会議費	(8,800)	(11,300)	(△ 2,500)	
通信・運搬費	(8,000)	(7,500)	(500)	
旅費交通費	(125,000)	(193,100)	(△ 68,100)	
検査士制度委員会	33,484,700	37,680,500	△ 4,195,800	
システム運営費	(1,050,000)	(2,244,000)	(\triangle 1,194,000)	
業務委託費	(1,880,000)	(720,000)	(1,160,000)	
諸謝金	(2,705,000)	(2,685,000)	(20,000)	
臨時雇い賃金	(2,107,600)	(2,764,000)	(△ 656,400)	
文具消耗品費	(200,000)	(140,000)	(60,000)	
会場·会議費	(16,500,000)	(20,045,800)	(△ 3,545,800)	
印刷費	(2,900,000)	(2,910,000)	(\triangle 10,000)	
通信•運搬費	(2,900,000)	(2,928,000)	(\triangle 28,000)	
旅費交通費	(1,547,400)	(1,552,000)	(\triangle 4,600)	
支払手数料	(1,651,700)	(1,651,700)	(0)	
雑費	(43,000)	(40,000)	(3,000)	
国際交流委員会	10,284,500	6,585,500	3,699,000	
奨学金	(6,800,000)	(3,600,000)	(3,200,000)	4名(2023)+1名(2021)+2名(20
会費·分担金	(3,123,000)	(2,584,000)	(539,000)	AFSUMB分担金
諸謝金	(220,000)	(180,000)	(40,000)	
会場·会議費	(11,500)	(11,500)	(0)	
通信·運搬費	(10,000)	(10,000)	(0)	
旅費交通費	(120,000)	(200,000)	(\(\Delta \text{ 80,000} \)	
広報委員会	15,130,400	3,000,000	12,130,400	
システム運営費	(2,905,400)	(3,000,000)	(Δ 94,600)	
システム運営費	(12,000,000)	(0)	(12,000,000)	Webリニューアル ※特定費用準備
会場·会議費	(198,000)	(0)	(198,000)	
旅費交通費	(27,000)	(0)	(27,000)	
企画委員会	126,000	943,000	△ 817,000	
会場·会議費	(100,000)	(67,000)	(33,000)	
通信•運搬費	(20,000)	(6,000)	(14,000)	
旅費交通費	(6,000)	(870,000)	(△ 864,000)	
キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会	257,370	288,370	△ 31,000	
諸謝金	(111,370)	(111,370)	(0)	
会場・会議費	(70,000)	(98,000)	(\(\Delta \) 28,000)	
通信・運搬費	(6,000)	(9,000)	(\(\Delta \) 3,000)	
	(70,000)	(70,000)	(0)	
旅費交通費		32,900	△ 22,900	
旅費交通費	10,000	1	(\triangle 19,900)	
旅費交通費 災害対策委員会		(29 900)		i .
旅費交通費 災害対策委員会 会場・会議費	(10,000)	(29,900) (3.000)	(\(\Delta \) 3.000)	
旅費交通費 災害対策委員会 会場·会議費 通信·運搬費	(10,000) (0)	(3,000)	, , ,	超音波画像のデータベース構築・
旅費交通費 災害対策委員会 会場・会議費 通信・運搬費 超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会	(10,000) (0) 24,042,000	(3,000) 5,698,250	18,343,750	
旅費交通費 災害対策委員会 会場・会議費 通信・運搬費 超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会 システム運営費	(10,000) (0) 24,042,000 (0)	(3,000) 5,698,250 (4,958,250)	18,343,750 (知能診断開発推進委員会より名利
旅費交通費 災害対策委員会 会場・会議費 通信・運搬費 超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会 システム運営費 システム運営費	(10,000) (0) 24,042,000 (0) (4,958,250)	(3,000) 5,698,250 (4,958,250) (0)	18,343,750 (
旅費交通費 災害対策委員会 会場・会議費 通信・運搬費 超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会 システム運営費 システム運営費 文具消耗品費	(10,000) (0) 24,042,000 (0) (4,958,250) (0)	(3,000) 5,698,250 (4,958,250) (0) (50,000)	18,343,750 (\$\triangle 4,958,250) (4,958,250) (\$\triangle 50,000)	知能診断開発推進委員会より名称 ※特定費用準備資金
旅費交通費 災害対策委員会 会場・会議費 通信・運搬費 超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会 システム運営費 システム運営費	(10,000) (0) 24,042,000 (0) (4,958,250)	(3,000) 5,698,250 (4,958,250) (0)	18,343,750 (\$\triangle 4,958,250) (4,958,250) (\$\triangle 50,000)	超音波画像のデータベース構築・人 知能診断開発推進委員会より名称 ※特定費用準備資金 ※特定費用準備資金

科目	予算額	前年度予算額		備考
旅費交通費	(1,050,000)	(0)	(1,050,000)	※特定費用準備資金
業務委託費	(16,695,750)	(0)	(16,695,750)	※特定費用準備資金
諸謝金	(0)	(630,000)	(\(\Delta \) 630,000)	· 八百元 英川 十 岫 貝 亚
諸謝金	(1.228.000)	(0)	(1,228,000)	※特定費用準備資金
事業費計	376,184,117	315,724,880	60,459,237	MITTO CONTRACTOR OF THE CONTRA
7 713611				
管理費				
給与手当	52,496,000	49,922,000	2,574,000	
会計顧問料	880,000	880,000	0	
福利厚生費	505,000	486,000	19,000	
法定福利費	8,700,000	8,700,000	0	
職員交通費	1,434,500	1,390,200	44,300	
事務所賃借料	20,065,700	20,065,700	0	
事務用機器賃借料	923,500	918,100	5,400	
備品費	200,000	200,000	0	
文具消耗品費	330,000	380,000	△ 50,000	
光熱水料	1,400,000	1,300,000	100,000	
事務OA化費	2,000,000	2,000,000	0	
会場・会議費	450,000	500,000	△ 50,000	
印刷費	1,200,000	1,500,000	△ 300,000	
通信·運搬費 旅費交通費	3,400,000	3,400,000	0	理事会等
(本)	1,300,000 250,000	1,300,000 240,000	10,000	理事云寺 役員賠償責任保険・火災保険ほか
日本 日	7,200,000	7,200,000	0	区長知県長は体際・八火体際はか
支払手数料	2,200,000	2,200,000	0	
システム運営費	280,000	2,200,000	80,000	
会費・分担金	465,500	465,500	0	日本医学会、公益法人協会ほか
業務委託費	396,000	396,000	0	
雑費	400,000	400,000	0	
保険委員会	775,000	915,850	△ 140,850	
会費·分担金	(600,000)	(600,000)	(0)	内保連、外保連
会場·会議費	(20,000)	(34,850)	(\triangle 14,850)	
通信•運搬費	(5,000)	(5,000)	(0)	
旅費交通費	(150,000)	(276,000)	(\triangle 126,000)	
倫理委員会	63,000	32,900	30,100	
会場·会議費	(13,000)	(29,900)	(\triangle 16,900)	
通信・運搬費	(0)	(3,000)	(△ 3,000)	
旅費交通費	(50,000)	(0)	(50,000)	
利益相反委員会	63,000	191,000	Δ 128,000	
会場・会議費	(13,000)	(10,000)	(3,000)	
旅費交通費 規約関係	(50,000)	(181,000)	(△ 131,000) △ 2,000	
通信•運搬費	3,000 (3,000)	5,000 (5,000)	Δ 2,000 (Δ 2,000)	
選挙関係	175,000	316,500	Δ 141,500	
会場・会議費	(25,000)	(23,000)	(2,000)	
旅費交通費	(150,000)	(117,500)	(32,500)	
システム運営費	(0)	(176,000)	(\triangle 176,000)	
管理費計	107,555,200	105,504,750	2,050,450	
事業活動支出計 (B)	483,739,317	421,229,630	62,509,687	
事業活動収支差額 (C) =(A)-(B)	△ 38,583,727	26,600,000	△ 65,183,727	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	66,900,000	900,000	66,000,000	
学術奨励基金取崩収入	(15,000,000)	(0)	(15,000,000)	
システム関連基金取崩収入	(5,000,000)	(600,000)	(5,000,000)	
伊東賞基金取崩収入 工藤賞基金取崩収入	(600,000) (300,000)	(600,000) (300,000)	(0)	必指定正時財産
上膝員基金取朋収入 超音波医学啓発準備資金取崩収入	(300,000)	(300,000)		※指定正味財産 ※特定費用準備資金
超自次医子宫光华侧貝並取朋収入 教育関連準備資金取崩収入	(12,000,000)	(0)		※特定費用準備資金
データベース整備資金取崩収入	(24,000,000)	(0)	(24,000,000)	※特定費用準備資金
投資活動収入計 (D)	66,900,000	900,000	66,000,000	1 100 100 100
2. 投資活動支出		,		
特定預金繰入支出	47,500,000	15,500,000	32,000,000	
退職給付引当預金支出 学術奨励基金組入支出	(3,500,000)	(12,000,000) (1,500,000)	(△ 8,500,000) (△ 1,500,000)	
字	(0)	(1,500,000)	(
超音波医学啓発準備資金組入支出	(10,000,000)	(2,000,000)		※特定費用準備資金
だータベース整備資金組入支出	(21,000,000)	(0)	(21,000,000)	※特定費用準備資金
学術集会準備資金組入支出	(13,000,000)	(0)		※特定費用準備資金
什器備品取得支出	0	12,000,000	△ 12,000,000	
投資活動支出計 (E)	47,500,000	27,500,000	20,000,000	
投資活動収支差額 (F) =(D)-(E)	19,400,000	△ 26,600,000	46,000,000	

科目		予算額	前年度予算額	増 減	備考
Ⅲ 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入				0	
財務活動収入計	(G)	0	0	0	
2. 財務活動支出				0	
財務活動支出計	(H)	0	0	0	
財務活動収支差額	(J) =(G)-(H)	0	0	0	
当期収支差額	(K) =(C)+(F)+(J)	△ 19,183,727	0	△ 19,183,727	
前期繰越収支差額	(L)	166,840,034	0	166,840,034	
次期繰越収支差額	(K)+(L)	147,656,307	0	147,656,307	

公益社団法人収支予算内訳書(損益計算ベース)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科目	公益目的事業会計	収益事業	等会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
	公1	資格認定事業	会員相互補助事業	小計			
设正味財産増減の部							
经营销产业							
経常増減の部)経常収益							
基本財産運用収入	0	0	0	0	720	0	7
特定資産運用収入	2,450	0	0	0	0	0	2,4
入会金収入	725,000	0	0	0	725,000	0	1,450,0
会費収入 参加費収入	83,148,000 95,639,700	0	0	0	83,148,000	0	166,296,0 95,639,7
参加質収入 共催セミナー収入ほか	95,639,700 82,711,000	0	0	0	0	0	95,639,7 82,711,0
広告収入	8,902,000	Ö	0	0	0	0	8,902,0
試験·新規認定収入	0	51,677,500	0	51,677,500	0	0	51,677,5
更新認定収入	0	25,617,500	0	25,617,500	0	0	25,617,5
学会誌別刷収入 資料頒布収入	90,000 7,929,120	0	0	0	0	0	90,0 7,929,1
著作権・印税収入	1,925,600	ő	0	0	0	0	1,925,6
寄付金収入	2,410,000	0	0	0	0	0	2,410,0
・指定正味財産からの振替	300,000	0	0	0	0	0	300,0
補助金·助成金収入 受取利息収入	500,000 0	0	0	0	0 2,000	0 0	500,0 2,0
雑収入	0	0	0	0	2,000	0	2,0
常収益計	284,282,870	77,295,000	0	77,295,000	83,877,720	0	445,455,5
)経常費用 事業費							
争未复 学会誌出版費	36,500,000	0	0	0			36,500,0
発送経費	4,685,000	0	0	0			4,685,0
校正費	11,160,000	0	0	0			11,160,0
表彰関係費	6,440,000	0	0	0			6,440,0
奨学金 給与手当	6,800,000 23,380,788	7,954,290	0 1,446,234	0 9,400,524			6,800,0 32,781,3
和サナヨ 臨時雇い賃金	9,005,000	2,787,600	1,440,234	2,787,600			11,792,
会計顧問料	0	0	0	0			
法定福利費	4,219,500	1,435,500	261,000	1,696,500			5,916,
職員交通費 事務所賃借料	695,739	236,694	43,036	279,730 3,912,814			975,
事務所貨借料 文具消耗品費	9,731,871 2,759,500	3,310,842 200,000	601,972 0	3,912,814 200,000			13,644, 2,959,
光熱水料	679,000	231,000	42,000	273,000			952,
会場・会議費	98,739,797	17,808,800	180,000	17,988,800			116,728,
印刷費	31,587,352	3,070,000	0	3,070,000			34,657,
通信·運搬費 旅費·交通費	4,062,000 13,462,000	4,049,000 4,072,400	128,000 76,000	4,177,000 4,148,400			8,239, 17,610.
支払手数料	731,000	1,651,700	70,000	1,651,700			2,382,
システム運営費	27,419,050	1,512,000	0	1,512,000			28,931,
租税公課	3,492,000	1,260,000	0	1,260,000			4,752,
業務委託費	61,361,308	2,055,000	0	2,055,000			63,416,
雑費 会費·分担金	3,633,000	43,000	0	43,000 0			43, 3,633,
関連行事費	5,847,000	0	0	0			5,847,
諸謝金	7,614,440	3,280,000	111,370	3,391,370			11,005,
賞与引当金繰入額	2,079,772	707,550	128,646	836,196			2,915,
退職給付費用 減価償却費	2,030,364 296,033	690,742 1,362,702	125,590 1,348	816,332 1,364,050			2,846, 1,660,
事業費計	384,076,314	57,718,820	3,145,196	60,864,016	0	0	444,940,
管理費							
給与手当	0			0	15,426,507		15,426,
会計顧問料	0			0	880,000		880,
福利厚生費	0			0	505,000		505,
法定福利費	0			0	2,784,000 459,031		2,784, 459,
職員交通費 事務所賃借料	0			0	6,421,015		6,421,
事務用機器賃借料	0			0	923,500		923
備品費	0			0	200,000		200,
文具消耗品費	0			0	330,000		330,
光熱水料 事務OA化費	0			0	448,000 2,000,000		448, 2,000,
会場·会議費	0			0	521,000		521,
印刷費	0			0	1,200,000		1,200
通信・運搬費	0			0	1,096,000		1,096
旅費交通費 租税公課	0			0	1,700,000 2,448,000		1,700, 2,448,
^{祖忧公誅} 支払手数料	0			0	2,200,000		2,448
システム運営費	0			0	280,000		280
会費・分担金	0			0	1,065,500		1,065
保険料 業務委託費	0			0	250,000 396,000		250, 396,
来務安計資 雑費	0			0	400,000		400,
賞与引当金繰入額	0			0	1,372,213		1,372,
退職給付費用	0			0	1,339,620		1,339,
減価償却費 管理費計	0			0	17,517	^	17,
管理質計 常費用計	384,076,314	57,718,820	3,145,196	0 60,864,016	44,662,903 44,662,903	0	44,662, 489,603,
E 常增減額	△ 99,793,444	19,576,180	∆ 3,145,196	16,430,984	39,214,817	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	△ 44,147,
経常外増減の部	0						
常外費用計	0	0	0	0	0	0	
圣常外增減額 E味財産増減額	0 △ 99,793,444	19,576,180	0 △ 3,145,196	0 16,430,984	0 39,214,817	0	△ 44,147,
E味財産期首残高	265,327,405	10,070,100	△ 0,140,100	27,764,619	159,172,453	<u> </u>	452,264,
味財産期末残高	165,533,961			44,195,603	198,387,270		408,116,
や正味財産機械の如							
定正味財産増減の部							
取交付金	0	0	0	0	0	0	
取補助金等	0	0	0	0	0	0	
取寄附金	0	0	0	0	0	0	
般正味財産へ振替	0) (0) (0) (0) (0.	(0)	(
受取交付金 受取補助金等 (0) (0) (0) (0) (0)	(0)	(
受取寄附金 (300,000)	0) (0)	0) (0)	(0)	(300,
旨定正味財産増減額	△ 300,000	0	0	0	0	0	△ 300,
E味財産期首残高	5,700,000			0		^	5,700,
E味財産期末残高	5,400,000			0	0	0	5,400,

⁽注) 資金調達及び設備投資の見込みについて
1. 資金調達の見込みについて
当年度における借り入れの予定・・・ なし
2. 設備投資の見込みについて
当年度における重要な設備投資(除却又は売却を含む)の予定・・・ なし

公益社団法人日本超音波医学会定款(案)

(平成25年4月1日制定) (平成26年5月10日変更) (平成27年5月23日変更) (平成27年10月9日変更) (平成28年4月1日変更) (平成28年5月28日変更) (令和元年5月25日変更) (令和5年**月**日変更)

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、公益社団法人日本超音波医学会(英文名 The Japan Society of Ultrasonics in Medicine)(以下「本会」という.)と称する.

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を東京都千代田区に置く.

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は、超音波医学に関する学理及び応用の研究についての発表、知識の交換、情報の提供等を行うことにより、超音波医学及びその関連学問領域のにおける学術の発展進歩普及を図り、る. もって我が国における学術の発展また安全かつ質の高い医療を提供するための学会活動を介して、これらを社会へ普及啓発し、人類の健康増進や福祉の向上に寄与することを目的とする.

(事業)

- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う.
 - 一 学術集会,学術講演会等の開催
 - 二 会誌及びその他刊行物の発行
 - 三 調査・研究及び教育・ 啓蒙
 - 四 学会認定超音波専門医・超音波工学フェロー及び学会認定超音波検査士の認定
 - 五 超音波に関わる医療の普及、啓発並びに社会への還元活動
 - 玉六 内外の関連学術団体との連絡及び協力
 - 六七 その他本会の目的を達成するために必要な事業
 - 2 前項の事業は、本邦及び海外において行うものとする.

第3章 会 員

(種類)

第5条 本会に、次の種類の会員を置く.

一 正会員

医学部医学科,歯学部歯学科,獣医学課程若しくは薬学部の学士号を取得した者,理工学系の学士号を取得した者又は博士号を取得した者であり、かつ満65歳に達した日以降最初の3月31日が経過していない者又はそれ以下の満年齢の者で、本会の目的に賛同して入会したもの

二 シニア会員

医学部医学科,歯学部歯学科,獣医学課程若しくは薬学部の学士号を取得した者,理工学系の学士号を取得した者又は博士号を取得した者であり,かつ満65歳に達した日以降最初の3月31日が経過した者又はそれ以上の満年齢の者で,本会の目的に賛同して入会したもの

三 準会員

正会員又はシニア会員に該当しない者で、臨床検査技師、診療放射線技師若しくは看護師・准看護師の資格を有するもの又は学位号を取得したもの若しくはそれと同等の資格を有するもので、本会の目的に賛同して入会したもの

四 学生会員

超音波医学に関する学術を専攻するために大学の学部若しくは大学院修士課程又はその他関連教育

機関に在学中の学生で、本会の目的に賛同して入会したもの

五 賛助会員

本会の行う事業を賛助する団体又は個人で、本会の目的に賛同して入会したもの

六 名誉会員

超音波医学に関して顕著な功績があり、理事会の推挙に基づき社員総会の承認を得た者

- 七 功労会員
 - 本会に格別な功労のあったシニア会員で、理事会の推挙に基づき社員総会の承認を得たもの
- 2 本会の社員(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「法人法」という.)第11条第1項第5 号等に規定する社員をいう.以下同じ)は概ね正会員30名の中から1人の割合をもって選出される代議 員をもって社員とする.
- 3 代議員を選出するため、正会員による代議員選挙を行う. 代議員選挙を行うために必要な細則は理事会において定める.
- 4 代議員は、正会員の中から選ばれることを要する.正会員は、前項の代議員選挙に立候補することができる.
- 5 第3項の代議員選挙において、正会員は他の正会員と等しく代議員を選挙する権利を有する. 理事 又は理事会は、代議員を選出することはできない.
- 6 第3項の代議員選挙は、4年に1度、1月から2月までの期間に実施することとし、代議員の任期は、代議員選任の年の4月1日から4年後の3月31日までとし、再任を妨げない。ただし、代議員が社員総会決議取消しの訴え、解散の訴え、責任追及の訴え及び役員の解任の訴え(法人法第266条第1項、第268条、第278条、第284条)を提起している場合(法人法第278条第1項に規定する訴えの提起の請求をしている場合を含む。)には、当該訴訟が終結するまでの間、当該代議員は社員たる地位を失わない(当該代議員は、役員の選任及び解任(法人法第63条及び第70条)並びに定款変更(法人法第146条)についての議決権を有しないこととする。)。
- 7 代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなるときに備えて補欠の代議員を選挙することができる。補欠の代議員の任期は、任期の満了前に退任した代議員の任期の満了する時までとする。
- 8 補欠の代議員を選挙する場合には、次に掲げる事項も併せて決定しなければならない。
 - 一 当該候補者が補欠の代議員である旨
 - 二 当該候補者を1人又は2人以上の特定の代議員の補欠の代議員として選任するときは、その旨及び当該特定の代議員の氏名
 - 三 同一の代議員(2以上の代議員の補欠として選任した場合にあっては、当該2以上の代議員)につき2人以上の補欠の代議員を選任するときは、当該補欠の代議員相互間の優先順位
- 9 第7項の補欠の代議員の選任に係る決議が効力を有する期間は、第6項に定める代議員の任期の満了の時までとする。
- 10 正会員は、法人法に規定された次に掲げる社員の権利を、社員と同様に本会に対して行使することができる.
 - 一 法人法第14条第2項の権利(定款の閲覧等)
 - 二 法人法第32条第2項の権利(社員名簿の閲覧等)
 - 三 法人法第57条第4項の権利(社員総会の議事録の閲覧等)
 - 四 法人法第50条第6項の権利(社員の代理権証明書面等の閲覧等)
 - 五 法人法51条第4項及び第52条第5項の権利(議決権行使書面の閲覧等)
 - 六 法人法第129条第3項の権利(計算書類等の閲覧等)
 - 七 法人法第229条第2項の権利(清算法人の貸借対照表等の閲覧等)
 - 八 法人法第246条第3項, 第250条第3項及び第256条第3項の権利(合併契約書等の閲覧等)
- 11 理事及び監事は、その任務を怠ったときは、本会に対し、これによって生じた損害を賠償する責任 を負い、法人法第112条の規定にかかわらず、この責任は、すべての正会員の同意がなければ、免除す ることができない.
- 12 正会員が満65歳に達した日以降最初の3月31日が経過した場合には、正会員の資格を喪失し、特段の意思表示のない限りシニア会員になるものとする.

(入 会)

第6条 会員になろうとする者は、次条に定める入会金及び当該年度の会費を添えて所定の入会申込書を理事長に提出し、理事会の承認を得なければならない。ただし、名誉会員及び功労会員として社員総会の承認を得た者は、入会の手続きを要せず、本人の承諾をもって会員となるものとする。

(入会金及び会費)

第7条 入会金及び会費に関する規定は、社員総会の決議を経て別に定める.

(会誌の配布等)

- 第8条 会員には、本会が刊行する会誌を配布する.
 - 2 会員は、本会が催す各種の事業に優先参加することができる.

(資格の喪失)

- 第9条 会員は、次の事由によってその資格を喪失する.
 - 一 退会したとき.
 - 二 会費を3年滞納したとき、資格喪失日時は3年連続滞納した年度末とする.
 - 三 死亡したとき、若しくは失踪宣告を受けたとき、又は団体である会員が解散したとき.
 - 四 除名されたとき.
 - 五 総社員の同意のあったとき.
 - 2 代議員は、正会員の資格を喪失したときは、代議員たる資格も喪失する.

(退 会)

第10条 会員が退会しようとするときは、任意にいつでも退会することができる.

(懲 戒)

- 第11条 会員が本会の定款若しくは規則等に違反したとき又は本会の名誉若しくは信用を傷つけ、その他会員としての品位を損なう行為があったときは、これを懲戒することができる.
 - 2 懲戒は、次の2種とする.
 - 一 除名
 - 二 厳重注意
 - 3 前項第1号により会員を除名する場合には、社員総会の決議を経なければならない.この場合、その会員に対し社員総会の1週間前までに理由を付して除名する旨を通知し、社員総会において当該会員に対し、決議の前に弁明の機会を与えなければならない.
 - 4 前項により除名が決議されたときは、その会員に対し、通知するものとする.
 - 5 第2項第2号により厳重注意する場合には、理事会の決議を経て理事長がこれを行う.

(会員資格喪失に伴う権利及び義務)

- 第12条 会員が第9条第1項の規定によりその資格を喪失したときは、本会に対する会員としての権利を失い、義務を免れる. ただし、未履行の義務は、これを免れることができない.
 - 2 本会は、会員がその資格を喪失しても、既納の入会金、会費及び拠出金品は、これを返還しない、

第4章 社員総会

(構成)

第13条 社員総会は、すべての社員をもって構成する.

(権 限)

- 第14条 社員総会は、次の事項について決議する.
 - 一 役員の選任又は解任
 - 二 定款の変更
 - 三 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の承認
 - 四 入会金及び会費の金額
 - 五 会員の除名
 - 六 長期借入金並びに重要な財産の処分及び譲受け
 - 七 解散及び残余財産の処分
 - 八 基本財産の処分
 - 九 合併,事業の全部若しくは一部の譲渡
 - 十 前各号に定めるもののほか法人法に規定する事項及びこの定款に定められた事項
 - 2 前項にかかわらず、個々の社員総会においては、第16条第3項の書面に記載した社員総会の目的である事項以外の事項は、決議することができない。

(開催)

第15条 定時社員総会として毎年度1回事業年度終了後3か月以内に開催するほか、必要がある場合に開催 する.

(招集)

- 第16条 社員総会は,法令に別段の定めがある場合を除き,理事会の決議に基づき理事長が招集する.
 - 2 前項のほか,総社員の議決権の10分の1以上を有する社員から会議に付議すべき事項及び理由を記載した書面を提出して社員総会の開催を請求されたときは、理事長は、その請求を受理したのち30日以内に臨時社員総会を招集しなければならない。
 - 3 社員総会の招集は、少なくとも14日以前に、その会議に付議すべき事項、日時及び場所を記載した

書面をもって社員に通知する.

(議 長)

第17条 社員総会の議長は、当該社員総会において社員の中から選出する.

(議決権)

第18条 社員総会における議決権は、社員1名につき1個とする.

(決 議)

- 第19条 社員総会の決議は、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の 過半数をもって行う。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者と 見なし、この書面は社員総会の日から3か月間、その主たる事務所に備え置かなければならない。
 - 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。
 - 一 監事の解任
 - 二 定款の変更
 - 三 会員の除名
 - 四 長期借入金乃至は多額の借財及び重要な財産の処分又は譲受け
 - 五 解散及び残余財産の処分
 - 六 合併,事業の全部若しくは一部の譲渡
 - 七 基本財産の処分
 - 八 その他法令で定められた事項
 - 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が、第23条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(書面議決)

- 第20条 理事又は社員が社員総会の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき社員 の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の 決議があったものとみなす.
 - 2 前項の規定により社員総会の決議があったものとみなされる日から10年間,前項の書面又は電磁的 記録をその主たる事務所に備え置かなければならない.

(会員への報告)

第21条 社員総会の議事の要領及び決議した事項については、これを全会員に報告する。

(議事録)

- 第22条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより、議事録を作成する.
 - 2 議長及び選任された出席者の代表2名以上の者は、記名押印する.
 - 3 前項の議事録は、社員総会の日から10年間、その主たる事務所に備え置かなければならない。

第5章 役員

(役員の設置)

第23条 本会に,次の役員を置く.

- 一 理事20名以上25名以内
- 二 監事2名以内
- 2 理事のうち1名を理事長、2名を副理事長とする.
- 3 前項の理事長及び副理事長をもって法人法第91条第1項第1号上の代表理事とし、理事長及び副理 事長以外の理事をもって法人法第91条第1項第2号上の業務執行理事とする.

(役員の選任)

- 第24条 理事は、社員により選挙によって選出された候補者及び現理事会が選挙結果を反映して決議により 推薦された候補者の中から社員総会の決議により選任することができる。また監事は、社員により選挙 によって選出された候補者の中から社員総会の決議により選任することができる。
 - 2 理事長、副理事長及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定及び解職する.
 - 3 役員が欠けた場合又は役員の員数を欠くこととなるときに備えて補欠の役員を選任することができる.
 - 4 理事のうちには、理事のいずれか1名及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数(現在数)の3分の1を超えてはならない.
 - 5 他の同一の団体の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある理事の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない、監事についても、同様とする.

6 監事には、理事(親族その他特殊の関係がある者を含む)及び使用人が含まれてはならない。また、 各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

(理事の職務及び権限)

- 第25条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する.
 - 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、本会を代表し、その業務を執行し、業務執行 理事は、理事会において別に定めるところにより、本会の業務を分担執行する.
 - 3 副理事長は、理事長を補佐し、本会の業務を執行する.
 - 4 理事長,副理事長及び業務執行理事は,毎事業年度毎に4か月を超える間隔で2回以上,自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない.

(監事の職務・権限)

第26条 監事は、次に掲げる職務を行う。

- 一 本会の業務及び財産の状況を監査すること,並びに各事業年度に係る計算書類及び事業報告等を 監査すること.
- 二 理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成すること.
- 三 理事が不正の行為をし、若しくはその行為をするおそれがあると認めるとき又は法令若しくはこの定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、これを社員総会及び理事会に報告すること。
- 四 前号の報告をするため必要があるときは、理事長に理事会の招集を請求すること. ただし、その 請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする招 集通知が発せられない場合は、直接理事会を招集すること.
- 五 社員総会及び理事会に出席し、意見を述べること、
- 六 理事が社員総会に提出しようとする議案,書類その他法務省令で定めるものを調査し,法令若しくはこの定款に違反し,又は著しく不当な事項があると認めるときは,その調査の結果を社員総会に報告すること.
- 七 理事が本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくはこの定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をする恐れがある場合において、その行為によって本会に著しい損害が生じるおそれがあるときは、その理事に対し、その行為をやめることを請求すること.

(役員の任期)

- 第27条 役員の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結 の時までとする.
 - 2 役員は、再任を妨げない.
 - 3 補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする.
 - 4 役員は、第23条に定める定数に足りなくなる時は、任期の満了、又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお役員としての権利業務を有する.

(役員の報酬)

第28条 役員は、無報酬とする.

- 2 前項の規定にかかわらず、役員は、その職務執行において必要な実費弁償を受けることができる. (取引の制限)
- 第29条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。
 - 一 自己又は第三者のためにする本会の事業の部類に属する取引
 - 二 自己又は第三者のためにする本会との取引
 - 三 本会がその理事の債務を保証すること、その他理事以外の者との間における本会とその理事との利益が相反する取引
 - 2 前項の取引をした理事は、その取引の重要な事実を遅滞なく、理事会に報告しなければならない.

第6章 理事会

(構 成)

第30条 本会に理事会を置く.

2 理事会は、すべての理事をもって構成する.

(権 限)

第31条 理事会は、次の職務を行う.

- 一 社員総会の日時及び場所並びに目的である事項の決定
- 二 規則の制定,変更及び改廃に関する事項

- 三 前各号に定めるもののほか本会の業務執行の決定
- 四 理事の職務の執行の監督
- 五 理事長、副理事長及び業務執行理事の選定及び解職
- 2 理事会は、次に掲げる事項、その他の重要な業務執行の決定を、理事に委任することができない。
 - 一 重要な財産の処分及び譲受け
 - 二 多額の借財
 - 三 重要な使用人の選任及び解任
 - 四 従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止
 - 五 内部管理体制の整備
- 3 本会が保有する株式(出資)について、その株式(出資)に係る議決権を行使する場合には、あらか じめ理事会において理事総数(現在数)の3分の2以上の承認を要する.

(種類及び開催)

- 第32条 理事会は、通常理事会及び臨時理事会の2種とする.
 - 2 通常理事会は、毎事業年度2回以上開催する.
 - 3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する.
 - 一 理事長が必要と認めたとき
 - 二 理事長以外の理事から会議の目的である事項を記載した書面をもって理事長に招集の請求があったとき
 - 三 前号の請求があった日から5日以内に、その請求のあった日から2週間以内の日を理事会の日と する理事会の招集の通知が発せられない場合に、その請求をした理事が招集したとき
 - 四 第26条第4号の規定により、監事から理事長に招集の請求があったとき、又は監事が招集したとき

(招集)

- 第33条 理事会は、理事長が招集する. ただし、前条第3項第3号による理事が招集する場合及び前条第3項第4号後段により監事が招集する場合を除く.
 - 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が招集する.
 - 3 理事長は、前条第3項第2号又は第4号前段に該当する場合は、その請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日として臨時理事会を招集しなければならない.
 - 4 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面をもって、開催日の 1週間前までに、通知しなければならない。
 - 5 前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続きを経ることなく 理事会を開催することができる.

(議 長)

第34条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる.

(決 議)

第35条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過 半数をもって行う.

(決議の省略)

第36条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決 に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案 を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、 その限りではない。

(議事録等)

- 第37条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する.
 - 2 出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する.
 - 3 理事会の日(前条の規定により理事会の決議があったものとみなされた日を含む.)から10年間,前項の議事録又は前条の意思表示をその主たる事務所に備え置かなければならない.

第7章 資産及び会計

(資産の構成)

- 第38条 本会の資産は、次のとおりとする.
 - 一 設立当初の財産目録に記載された財産
 - 二 入会金及び会費

- 三 資産から生ずる収入
- 四 事業に伴う収入
- 五 寄付金品
- 六 その他の収入

(資産の種別)

- 第39条 本会の資産を分けて、基本財産と運用財産の2種とする.
 - 2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する.
 - 一 設立当初の財産目録中基本財産の部に記載された財産
 - 二 基本財産とすることを指定して寄付された財産
 - 三 理事会で基本財産に繰り入れることを決議した財産
 - 3 運用財産は、基本財産以外の資産とする、

(資産の管理)

- 第40条 本会の資産は、理事会の決議を経て理事長が管理する.
 - 2 基本財産のうち現金は、理事会の決議を経て、定期預金とする等確実な方法により、理事長が保管する.

(基本財産の処分の制限)

第41条 基本財産は,第14条第1項の社員総会決議による場合を除き,譲渡し,交換し,担保に供し,又は運用財産に繰り入れてはならない.

(経費の支弁)

第42条 本会の事業遂行に要する経費は、運用財産をもって支弁する.

(事業計画及び収支予算)

- 第43条 本会の事業計画書,収支予算書,資金調達及び設備投資の見込を記載した書類については,毎事業年度開始の日の前日までに,理事長が作成し,理事会の承認を経て,直近の社員総会に報告するものとする.これを変更する場合も同様とする.
 - 2 前項の書類については、主たる事務所に当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする.

(長期借入金)

第44条 本会が借入れをしようとするときは、その事業年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、社員総会の決議を経なければならない.

(事業報告及び決算)

- 第45条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査 を受け、理事会の承認を受けなければならない。
 - 一 事業報告(会員の異動状況書を含む)
 - 二 事業報告の附属明細書
 - 三 貸借対照表
 - 四 損益計算書(正味財産増減計算書)
 - 五 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
 - 六 財産目録
 - 七 理事及び監事の報酬等の基準及び報酬額
 - 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号、第6号及び第7号の書類については、 定時社員総会に提出し、第1号の書類については、内容を報告し、第3号、第4号、第6号及び第7号 の書類については、承認を受けなければならない。
 - 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、 定款及び社員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする.
 - 一 監查報告
 - 二 理事及び監事の名簿
 - 三 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類
 - 4 本会の収支決算に収支差額があるときは、理事会の承認を受けて、その一部若しくは全部を基本財産に編入し、又は翌年度に繰り越すものとする.

(公益目的取得財産残額の算定)

第46条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、 毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第3号の書類 に記載するものとする.

(基金を引き受ける者の募集)

第47条 本会は、基金を引き受ける者の募集をすることができる.

- 2 拠出された基金は、基金の拠出者と合意した期日まで返還しない。
- 3 基金の返還の手続については、返還する基金の総額については定時社員総会の決議を経るものとするほか、基金の返還を行う場所及び方法その他必要な事項を理事会において別に定めるものとする.

(事業年度)

第48条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る.

(会計原則)

第49条 本会の会計は、一般に公正妥当と認められる公益法人の会計の慣行に従うものとする.

(剰余金の分配)

第50条 本会は、剰余金の分配を行うことができない.

第8章 定款の変更,合併及び解散等

(定款の変更)

第51条 この定款は、社員総会の決議を経て変更することができる.

(合併等)

第52条 本会は、社員総会の決議を経なければ、他の法人との合併、事業の全部又は、一部の譲渡をすることができない。

(解散)

第53条 本会は、社員総会の決議その他法令で定められた事由により解散する.

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第54条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により消滅する場合(その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く.)には、社員総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする.

(残余財産の処分)

第55条 本会が清算をする場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、国若しくは地方公共団体又は公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人であって租税特別措置法第40条第1項に規定する公益法人等に該当する法人に贈与するものとする.

第9章 委員会

(委員会等)

- 第56条 本会の事業を推進するために必要あるときは、理事会はその決議により、委員会等を設置することができる
 - 2 委員会等の委員は、会員及び学識経験者のうちから、理事会が選任する.
 - 3 委員会等は審議の結果を理事会に報告するものとする.
 - 4 前項に定めるもののほか、委員会等の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議による.

第10章 事務局

(設置等)

第57条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する.

- 2 事務局に事務局長及び所要の職員を置く.
- 3 事務局長及び重要な職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する.
- 4 職員は,有給とする.

第11章 情報公開,個人情報の保護及び公告

(情報公開)

- 第58条 本会は、公正で開かれた活動を推進するため、その活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開するものとする。
 - 2 情報公開に関する必要な事項は、理事会の決議により別に定める.

(個人情報の保護)

第59条 本会は、業務上知り得た個人情報の保護に万全を期するものとする.

2 個人情報の保護に関する必要な事項は、理事会の決議により別に定める.

(公 告)

第60条 本会の公告は、電子公告により行う、

2 事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合には、官報に掲載する 方法によるものとする.

附則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律 の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項 に定める特例民法法人の解散の登記と一般社団法人の設立の登記を行ったときは、第48条の規定にかかわら ず、解散の登記の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする.
- 3 この法人の最初の代表理事及び業務執行理事は、第24条の規定にかかわらず、次のとおりとする.

理事(理事長) 竹中 克

理事(副理事長) 工藤 正俊

理事(副理事長) 谷口 信行

- 4 本会の設立により、従来社団法人日本超音波医学会に属した会員並びに財産及び権利義務の一切は、本会が継承する。
- 5 この定款の施行後最初の代議員は、第5条と同じ方法で予め行う代議員選挙において最初の代議員として選出された者とする.

附則

1 この定款の第9条の変更は、平成26年度社員総会の翌日(平成26年5月11日)から施行し、その他の部分の変更は内閣府より公益認定を受けた日から施行する.

附則

1 この定款の変更は、変更の議決を行った社員総会の翌日から施行する. 平成26年5月10日の定時総会で停止条件を付して変更したものは廃止する.

附則

1 この定款の変更は、平成27年10月10日から施行する.

附則

1 この定款の変更は、平成28年4月1日から施行する.

附則

1 この定款の変更は、平成28年5月28日から施行する.

附則

1 この定款の変更は、令和元年5月25日から施行する.

附則

1 この定款の変更は、令和5年**月**日から施行する.

定款変更事由

第2章の第3条「目的」及び第4条「事業」では、公益社団法人としての主旨や事業内容の現状が明確に反映されているとは言えないため、表現を変更した。

会費滞納による会員資格喪失者

(令和5年3月31日)

153名

内訳 正会員 91名

シニア会員 19名

準会員 43名

学生会員 0名

名 誉 会 員 推 薦

本学会名誉会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. 中谷 敏 氏

功労会員推薦

本学会功労会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. 井内 新氏

2. 伊藤 浩 氏

3. 東野英利子 氏

4. 蜂屋弘之 氏

5. 馬場一憲 氏

第25回特別学会賞

尾 辻 豊 (産業医科大学学長室)

熊 田 卓 (岐阜協立大学看護学部看護学科)

第2回工藤賞

田 徹 (済生会宇都宮病院超音波診断科 / 自治医科大学臨床検査医学)

論 文 賞

第37回菊池賞

Displacement detection with sub-pixel accuracy and high spatial resolution using deep learning(J Med Ultrasonics Vol. 49, No. 1)

Mariko Yamamoto • Shin Yoshizawa

(Graduate School of Engineering, Tohoku University)

The effect of attenuation inside the acoustic traps on the configuration of vertical artifacts in lung ultrasound: an experimental study with simple models(J Med Ultrasonics Vol. 49, No. 4)

Toru Kameda' • Naohisa Kamiyama² • Nobuyuki Taniguchi'

('Department of Ultrasound Medicine, Saiseikai Utsunomiya Hospital,²Ultrasound Division, GE Healthcare Japan)

第18回伊東賞

Factors associated with misdiagnosis of preoperative EUS in patients with pancreatic cystic neoplasms undergoing surgical resection(J Med Ultrasonics Vol. 49, No. 3)

Eizaburo Ohno' • Takuya Ishikawa1 • yasuyuki Mizutani' • Tadashi Iida' • Kota Uetsuki' • Jun Yashika' • Kenta Yamada² • Noriaki Gibo' • Toshinori Aoki' • Hiroki Kawashima²

('Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya University Hospital, Department of Endoscopy, Nagoya University Hospital)

Evaluation of an MRI/US fusion technique for the detection of non-mass enhancement of breast lesions detected by MRI yet occult on conventional B-mode second-look US(J Med Ultrasonics Vol. 49, No. 2)

Manami Goto'· Shogo Nakano'· masayuki Saito'· Hirona Banno'· Yukie Ito'· Mirai Ido'· Takahito Ando'· Junko Kousaka'· Kimihito Fujii'· Kojiro Suzuki²

('Division of Breast and Endocrine Surgery, Department of Surgery, Aichi Medical University, ²Department of Radiology, Aichi Medical University)

第23回技術賞

「AI技術を設計に活用した超音波診断装置のノイズ除去技術~Deep Insight技術~」グループ代表者:藤井信彦(富士フイルムヘルスケア株式会社)

「Contrast Vector Imaging」 グループ代表者:五十嵐悠 (キヤノンメディカルシステムズ株式会社))

「超音波血栓溶解療法用のカテーテル型超音波装置の技術」 グループ代表者:立 花 克 郎 (米国EKOS株式会社創業者)

第12回新人賞

[北海道地方会] 第52回北海道地方会学術集会発表【循環器】 交通孔の解剖学的診断に苦慮したパルサルバ洞ー右室短絡の1例 南 渕 美 玲 (手稲渓仁会病院循環器内科) [東北地方会]

第64回東北地方会学術集会発表【基礎】 光音響/超音波イメージング システムによる組織中血管密度の定量評価法 鈴木 陸 (東北大学医工学研究科)

```
[関東甲信越地方会]
第34回関東甲信越地方会学術集会発表【消化器】
治療前後評価に統合画像診断による造影超音波が有用であった上腸間膜動脈分枝動脈瘤の一例
石川 慶 朋
(日本大学医学部)
[中部地方会]
第43回中部地方会学術集会発表【消化器】
多発性内分泌腫瘍症1型(MEN1)に合併したガストリノーマの一例
有 賀 美 月
(藤田医科大学病院消化器内科)
[関西地方会]
第49回関西地方会学術集会発表【基礎】
市販超音波装置を用いたshear wave elastographyによるマウス慢性肝疾患モデル評価
清 重 大 翔
(大阪大学放射線技術科学専攻)
```

[中国地方会]

第58回中国地方会学術集会発表【消化器】 超音波検査による非B非C肝癌スクリーニングの必用性 丸谷梨栄 (岡山市立市民病院消化器内科)

第32回四国地方会学術集会発表【消化器】 超音波検査により描出し得た門脈 一肝静脈短絡路により非典型的血行動態を呈した肝細胞癌の一例一 中 谷 康 輔 (愛媛大学医学部附属病院第三内科)

[九州地方会] 第32回九州地方会学術集会発表【消化器】 portal sandwich signを契機に診断された特発性門脈圧亢進症の一例 黒岩俊志 (福岡大学筑紫病院消化器内科)

【顕彰委員会】 委員長 工藤信樹

副委員長 瀬尾由広

山口

岩 永 史 郎 西 田 睦 日 浅 陽 一

オブザーバー

-ハ-礎)秋山いわき 腺)平井都始子

以上16名